

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成17年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成17年1月1日～平成17年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統

市区町村	保健所	都道府県	厚生労働省
	保健所を 設置する市	・特別区	
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

利用上の注意

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数	数値：概数	数値：確定数
		(概数に修正を加えたもの)
集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人いずれも前年以前発生のものを含む	集計客体：日本における日本人(前年以前発生ものを除く)	集計客体：日本における日本人(日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲)
公表：毎月 (調査月の約2か月後)	公表：毎月 (調査月の約5か月後)	公表：毎年(調査年の翌年9月)
	※ 毎年(年間合計) ※ (調査年の翌年6月)	※平成17年については、 実数 9月 諸率 12月

※本概況は中央の破線の部分である。

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小(0.05, 0.00005未満)の場合	0.0, 0.0000
減少数(率)の場合	△
- 3 用語の説明
 - 自然増加：出生数から死亡数を減じたもの
 - 乳児死亡：生後1年未満の死亡
 - 新生児死亡：生後4週未満の死亡
 - 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
 - 死産：妊娠満12週以後の死児の出産
 - 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
 - 合計特殊出生率：その年次の15歳～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人(期間合計)の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数(特殊出生率)に相当する。(実際に1人の女子が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。)
- 4 この概況で使用した数値は、平成16年以前は確定数である。
- 5 昭和47年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和19～21年は資料不備のため省略した。
- 6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

結 果 の 概 要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は106万2604人で、前年の111万721人より4万8117人減少し、出生率（人口千対）は8.4で、前年の8.8を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、女子人口の減少している34歳以下で5万2400人減少し、35歳以上で4287人増加している。

出生数の変化の要因をみると、合計特殊出生率が1.29から1.25に低下し、15～49歳の女子人口が2777万人から2753万人に減少し、出生率の高い25～34歳女子人口の割合が32.2%から31.9%に低下した。

(2) 死亡数は増加

死亡数は108万4012人で、前年の102万8602人より5万5410人増加し、死亡率（人口千対）は8.6で前年の8.2を上回った。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物（がん）、第2位は心疾患（心臓病）、第3位は脳血管疾患（脳卒中）となっている。全死亡者に占める割合はそれぞれ、30.1%、16.0%、12.3%であり、死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物（がん）で死亡したことになる。

(3) 自然増加数は減少し、マイナス

出生数と死亡数の差である自然増加数は△2万1408人で、前年の8万2119人より10万3527人減少し、自然増加率（人口千対）は△0.2で、前年の0.7を下回り、自然増加数とともに、統計の得られていない昭和19年から21年を除き、現在の形式で調査を開始した明治32年以降初めてマイナスとなった。

出生数が死亡数を下回った県は前年は25道県であったが、平成17年は36道府県となり、出生数が死亡数を上回った県は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、滋賀県、大阪府、兵庫県、福岡県、沖縄県の11都府県となった。また、15大都市別にみると、出生数が死亡数を下回ったのは東京都の区部、静岡市、京都市、大阪市、北九州市の5市区となった。

(4) 死産数は減少

死産数は3万1830胎で、前年の3万4365胎より2535胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は29.1で、前年の30.0を下回った。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は71万4261組で、前年の72万417組より6156組減少し、婚姻率（人口千対）は5.7で前年と同率である。

平均初婚年齢は夫、妻ともに上昇傾向となっており、平成17年は夫29.8歳、妻28.0歳で、夫、妻ともに前年より0.2歳上昇している。

年齢（5歳階級）別にみた妻の5年間初婚率（女子人口百対）は、20歳代は低下傾向、30歳代で増加傾向となっているが、平成17年は、20歳代前半は16.8で前年より0.3低下、20歳代後半は前年と同率の29.7であり、30歳代は前年より上昇している。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は26万1929組で、前年の27万804組より8875組減少し、離婚率（人口千対）は2.08で、前年の2.15を下回った。

表1 人口動態総覧

	実 数			1) 率		平均発生間隔	
	平成17年	平成16年	対前年増減	平成17年	平成16年	平成17年	平成16年
出 生	1 062 604	1 110 721	△ 48 117	8.4	8.8	分 秒	分 秒
死 亡	1 084 012	1 028 602	55 410	8.6	8.2	29"	31"
乳児死亡	2 960	3 122	△ 162	2.8	2.8	177' 34"	168' 49"
新生児死亡	1 509	1 622	△ 113	1.4	1.5	348' 19"	324' 56"
自然増加	△ 21 408	82 119	△ 103 527	△ 0.2	0.7	…	…
死 産	31 830	34 365	△ 2 535	29.1	30.0	16' 31"	15' 20"
自然死産	13 496	14 288	△ 792	12.3	12.5	38' 57"	36' 53"
人工死産	18 334	20 077	△ 1 743	16.8	17.5	28' 40"	26' 15"
周産期死亡	5 147	5 541	△ 394	4.8	5.0	102' 7"	95' 7"
妊娠満22週 以後の死産	4 057	4 357	△ 300	3.8	3.9	129' 33"	120' 58"
早期新生児 死 亡	1 090	1 184	△ 94	1.0	1.1	482' 12"	445' 8"
婚 姻	714 261	720 417	△ 6 156	5.7	5.7	44"	44"
離 婚	261 929	270 804	△ 8 875	2.08	2.15	2' 0"	1' 57"

	平成17年	平成16年
合計特殊出生率	1.25	1.29

注：1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2 出生

(1) 出生数

平成17年の出生数は106万2604人で、前年の111万721人より4万8117人減少した。

第1次ベビーブーム期(昭和22～24年)に生まれた女性が出産したことにより、46～49年には第2次ベビーブームとなり、1年間に200万人を超える出生数であった。50年以降は毎年減少し続け、平成4年以降は増加と減少を繰り返しながら、ゆるやかな減少傾向であったが、平成13年から5年連続の減少となった。(図1)

出生率(人口千対)は8.4で、前年の8.8を下回った。

出生数を母の年齢(5歳階級)別にみると、平成17年は29歳以下の減少に加え増加傾向であった30～34歳が減少に転じ、女子人口の減少している34歳以下で5万2400人の減少となり、一方、35歳以上では4287人増加している。(表2-1)

出生順位別にみると、いずれの出生順位においても減少しており、平成15、16年は特に第1子の減少が大きかったが、平成17年は第1子とともに第2子の減少も大きく、それぞれ2万5466人、1万8314人の減少となっている。(表2-2)

第1子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成17年は29.1歳である。(表3)

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

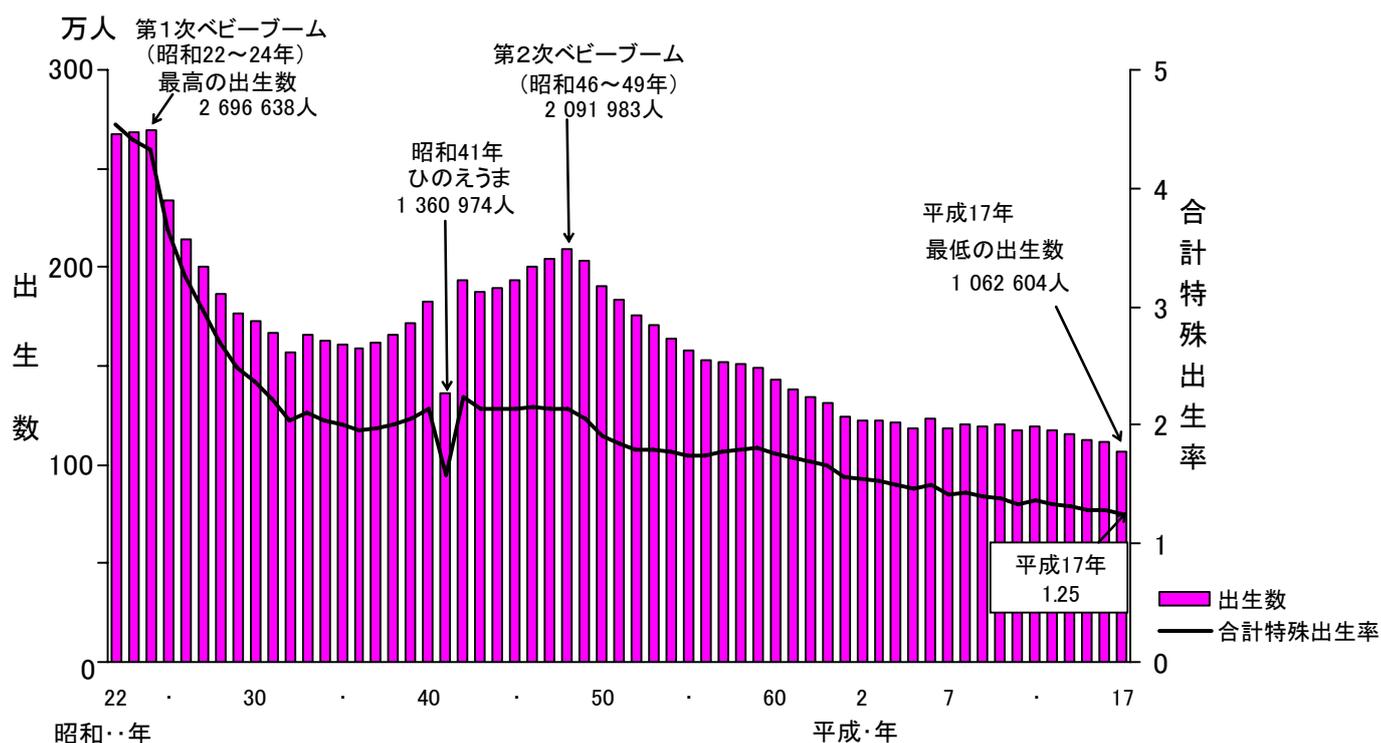


表2-1 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	15年-14年	16年-15年	17年-16年
1) 総数	1 153 855	1 123 610	1 110 721	1 062 604	△ 30 245	△ 12 889	△ 48 117
～14歳	52	49	45	41	△ 3	△ 4	△ 4
15～19	21 349	19 532	18 546	16 531	△ 1 817	△ 986	△ 2 015
20～24	152 493	142 068	136 486	128 140	△ 10 425	△ 5 582	△ 8 346
25～29	425 817	395 975	370 220	339 357	△ 29 842	△ 25 755	△ 30 863
30～34	406 482	408 585	415 903	404 731	2 103	7 318	△ 11 172
35～39	131 040	139 489	150 222	153 448	8 449	10 733	3 226
40～44	16 200	17 478	18 790	19 753	1 278	1 312	963
45～49	396	402	483	563	6	81	80
50歳以上	10	19	16	34	9	△ 3	18

注：1) 総数には母の年齢不詳を含む。

表2-2 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	15年-14年	16年-15年	17年-16年
総数	1 153 855	1 123 610	1 110 721	1 062 604	△ 30 245	△ 12 889	△ 48 117
第1子	571 501	547 170	537 913	512 447	△ 24 331	△ 9 257	△ 25 466
第2子	421 042	419 100	417 647	399 333	△ 1 942	△ 1 453	△ 18 314
第3子以上	161 312	157 340	155 161	150 824	△ 3 972	△ 2 179	△ 4 337

表3 第1子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和40年	50	60	平成7年	14	15	16	17
平均年齢	25.7 歳	25.7	26.7	27.5	28.3	28.6	28.9	29.1

(2) 合計特殊出生率

平成17年の合計特殊出生率は1.25で、前年の1.29を下回った。

昭和40年代は、第2次ベビーブーム期（昭和46～49年）を含め、ほぼ2.1台で推移していたが、50年に2.00を下回ってから低下傾向となり、平成17年は1.25となった。

（統計表第2表、図2）。

年齢階級別に内訳をみると、上昇傾向にある35～39歳はほぼ横ばいであるが、前年上昇に転じた30～34歳が再び低下したほか、低下幅の大きい25～29歳を含め、29歳以下で前年より低下した。（表4-1、図2）

出生順位別にみると、前年上昇に転じた第2子が再び低下し、どの出生順位も低下している。

（表4-2）

都道府県別にみると、合計特殊出生率が高いのは沖縄県（1.71）、福井県（1.47）、宮崎県（1.46）、福島県（1.46）等で、低いのは東京都（0.98）、奈良県（1.12）、京都府（1.13）、北海道（1.13）等大都市を含む地域であった。（表5、図3）

表4-1 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和50年	60	平成7年	14	15	16	17	15年-14年	16年-15年	17年-16年
総 数	1.91	1.76	1.42	1.32	1.29	1.29	1.25	△ 0.03	0.00	△ 0.04
15～19 歳	0.0205	0.0229	0.0185	0.0298	0.0280	0.0275	0.0254	△ 0.0018	△ 0.0005	△ 0.0021
20～24	0.5128	0.3173	0.2022	0.1979	0.1892	0.1859	0.1788	△ 0.0087	△ 0.0033	△ 0.0071
25～29	0.9331	0.8897	0.5880	0.4648	0.4490	0.4388	0.4182	△ 0.0158	△ 0.0102	△ 0.0206
30～34	0.3569	0.4397	0.4677	0.4410	0.4333	0.4364	0.4272	△ 0.0077	0.0031	△ 0.0092
35～39	0.0751	0.0846	0.1311	0.1633	0.1678	0.1755	0.1754	0.0045	0.0077	△ 0.0001
40～44	0.0106	0.0094	0.0148	0.0213	0.0227	0.0239	0.0242	0.0014	0.0012	0.0003
45～49	0.0004	0.0003	0.0004	0.0005	0.0006	0.0006	0.0008	0.0001	0.0000	0.0002

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

表4-2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和50年	60	平成7年	14	15	16	17	15年-14年	16年-15年	17年-16年
総 数	1.91	1.76	1.42	1.32	1.29	1.29	1.25	△ 0.03	0.00	△ 0.04
第 1 子	0.8622	0.7611	0.6607	0.6594	0.6382	0.6371	0.6182	△ 0.0212	△ 0.0011	△ 0.0189
第 2 子	0.7595	0.6950	0.5209	0.4748	0.4740	0.4762	0.4609	△ 0.0008	0.0022	△ 0.0153
第3子以上	0.2876	0.3078	0.2410	0.1845	0.1783	0.1753	0.1708	△ 0.0062	△ 0.0030	△ 0.0045

図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

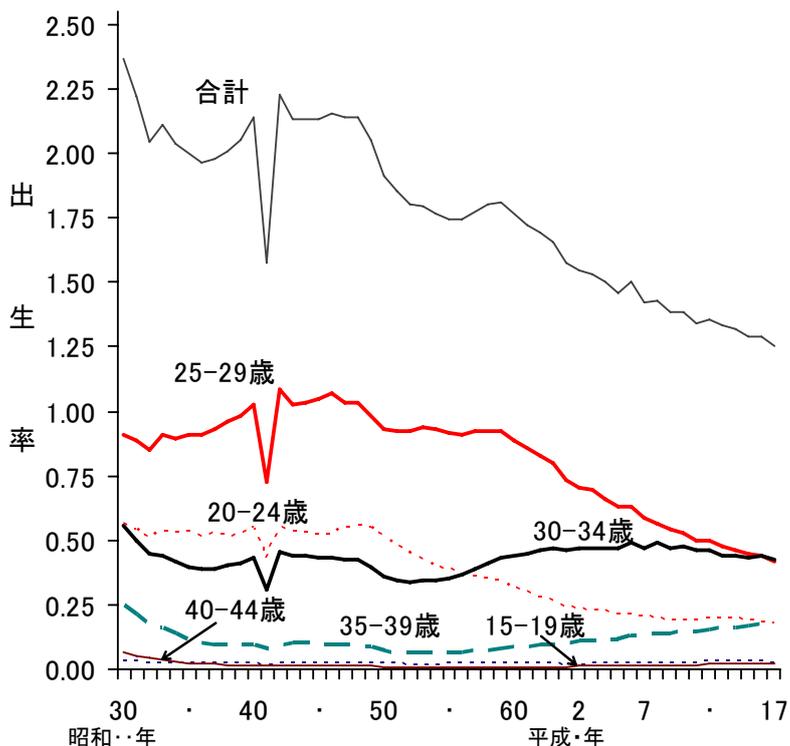


図3 都道府県別合計特殊出生率(平成17年)

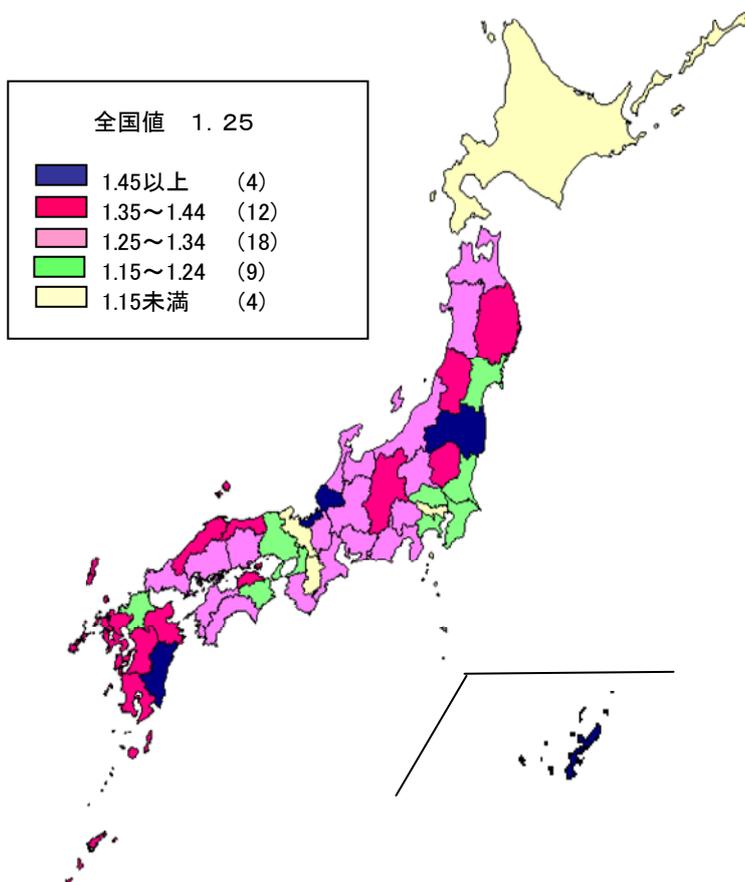


表5 都道府県別にもた合計特殊出生率

都道府県	平成17年	平成16年
全 国	1.25	1.29
北 海 道	1.13	1.19
青 森 県	1.25	1.35
岩 手 県	1.36	1.43
宮 城 県	1.19	1.24
秋 田 県	1.27	1.30
山 形 県	1.39	1.47
福 島 県	1.46	1.51
茨 城 県	1.24	1.33
栃 木 県	1.35	1.37
群 馬 県	1.32	1.35
埼 玉 県	1.18	1.20
千 葉 県	1.18	1.22
東 京 都	0.98	1.01
神 奈 川 県	1.17	1.20
新 潟 県	1.29	1.34
富 山 県	1.33	1.37
石 川 県	1.31	1.35
福 井 県	1.47	1.45
山 梨 県	1.31	1.36
長 野 県	1.39	1.42
岐 阜 県	1.28	1.31
静 岡 県	1.34	1.37
愛 知 県	1.30	1.34
三 重 県	1.29	1.34
滋 賀 県	1.34	1.41
京 都 府	1.13	1.14
大 阪 府	1.16	1.20
兵 庫 県	1.20	1.24
奈 良 県	1.12	1.16
和 歌 山 県	1.26	1.28
鳥 取 県	1.44	1.50
島 根 県	1.40	1.48
岡 山 県	1.31	1.38
広 島 県	1.30	1.33
山 口 県	1.33	1.36
徳 島 県	1.21	1.31
香 川 県	1.39	1.43
愛 媛 県	1.30	1.33
高 知 県	1.30	1.30
福 岡 県	1.21	1.25
佐 賀 県	1.44	1.49
長 崎 県	1.39	1.46
熊 本 県	1.42	1.47
大 分 県	1.39	1.40
宮 崎 県	1.46	1.52
鹿 児 島 県	1.44	1.47
沖 縄 県	1.71	1.72

注：分母に用いた人口は、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課で推計した各歳別日本人人口（全国）、5歳階級別総人口（都道府県）

3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成17年の死亡数は108万4012人で、前年の102万8602人より5万5410人増加し、死亡率（人口千対）は8.6で前年の8.2を上回った。

昭和30年以降は70万人前後で推移していたが、昭和50年代後半から増加傾向となり、平成2年以降は80万人台、平成7年以降にはほぼ90万人台となり、平成15年から3年連続で100万人台となっている。

昭和20年代に多かった0～14歳の死亡数が減少し、昭和50年代後半から死亡率の高い高齢者数の増加を反映して75歳以上で増加しており、平成17年の死亡数の約6割を占めている。

(図4)

年齢（5歳階級）別に死亡率（人口10万対）をみると、65～69歳と85～89歳を除いた、55歳以上の各年齢階級で前年より上昇しており、特に60歳以上で上昇幅が大きい。(表6-1)

死亡率性比（男の死亡率/女の死亡率×100）を年齢（5歳階級）別にみると、全年齢階級で100以上となっており、男の死亡率が高いことを示している。また、20～29歳と45～79歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の2倍以上となっている。(表6-2)

図4 死亡数及び死亡率の年次推移

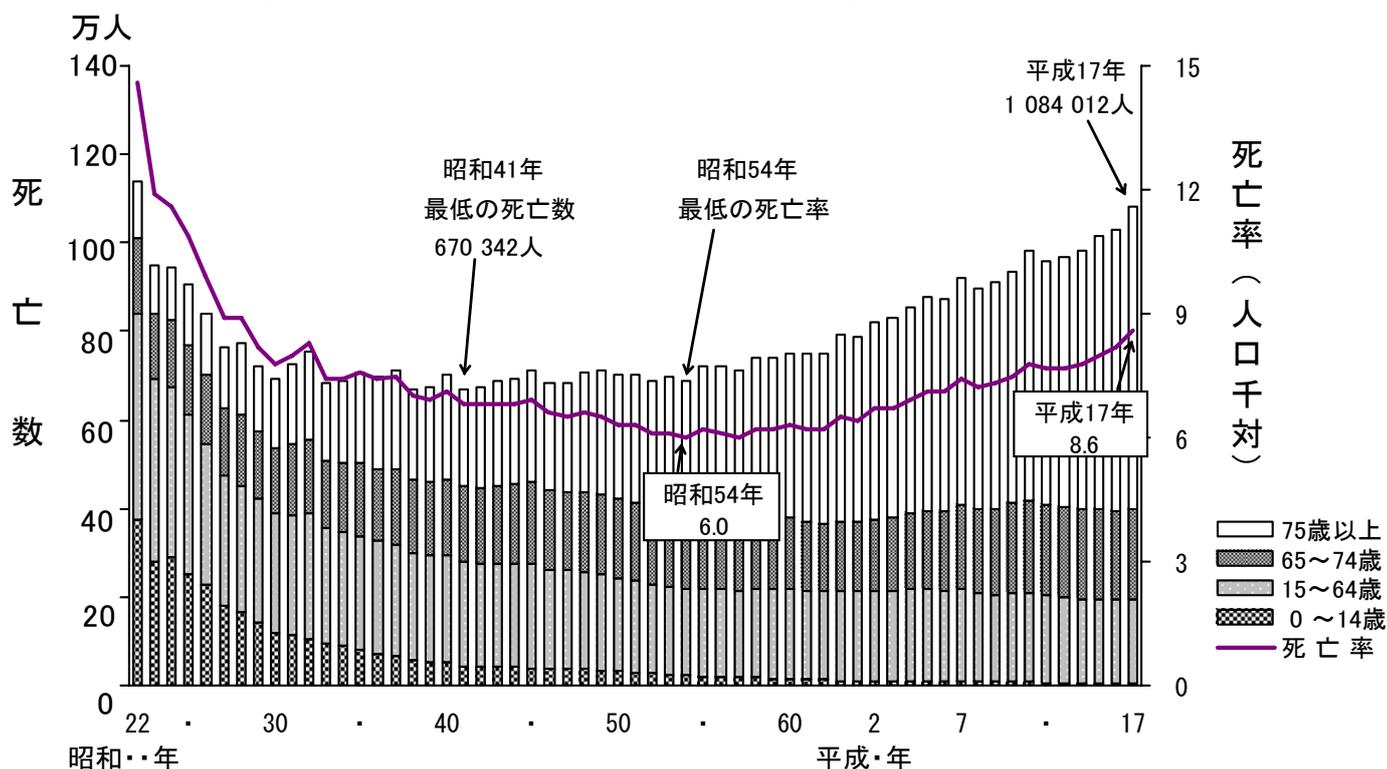


表6-1 年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

年齢階級	死亡数			死亡率		
	平成17年	平成16年	対前年増減	平成17年	平成16年	対前年増減
1) 総数	1 084 012	1 028 602	55 410	858.9	815.2	43.7
0～4歳	4 105	4 281	△ 176	73.5	75.4	△ 1.9
5～9	655	607	48	11.2	10.3	0.9
10～14	590	589	1	9.9	9.8	0.1
15～19	1 802	1 928	△ 126	27.7	28.8	△ 1.1
20～24	3 368	3 241	127	45.9	43.2	2.7
25～29	4 175	4 157	18	50.5	48.6	1.9
30～34	5 951	5 969	△ 18	61.9	62.0	△ 0.1
35～39	7 470	7 405	65	86.7	87.2	△ 0.5
40～44	10 239	10 069	170	128.5	129.5	△ 1.0
45～49	15 761	16 098	△ 337	205.9	207.5	△ 1.6
50～54	28 967	31 307	△ 2 340	332.0	339.4	△ 7.4
55～59	49 597	46 480	3 117	487.6	485.1	2.5
60～64	62 277	61 579	698	738.1	715.3	22.8
65～69	80 843	81 497	△ 654	1 095.1	1 114.6	△ 19.5
70～74	120 842	117 114	3 728	1 832.0	1 817.4	14.6
75～79	159 396	152 164	7 232	3 050.6	2 994.2	56.4
80～84	174 211	160 438	13 773	5 135.9	4 979.5	156.4
85～89	165 410	154 810	10 600	9 028.9	9 037.4	△ 8.5
90歳以上	187 685	168 210	19 475	17 346.1	16 605.1	741.0

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

表6-2 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率
（人口10万対）・死亡率性比(平成17年)

年齢階級	死亡数		死亡率		死亡率性比 ²⁾
	男	女	男	女	
1) 総数	585 118	498 894	949.6	772.4	122.9
0～4歳	2 293	1 812	80.0	66.7	119.9
5～9	409	246	13.7	8.6	159.3
10～14	361	229	11.8	7.9	149.4
15～19	1 220	582	36.6	18.4	198.9
20～24	2 302	1 066	61.0	29.9	204.0
25～29	2 891	1 284	68.2	31.9	213.8
30～34	3 914	2 037	80.2	43.0	186.5
35～39	4 915	2 555	113.0	59.9	188.6
40～44	6 807	3 432	169.5	86.8	195.3
45～49	10 583	5 178	275.5	135.7	203.0
50～54	19 552	9 415	449.4	215.3	208.7
55～59	34 251	15 346	680.9	298.6	228.0
60～64	43 416	18 861	1 062.3	433.5	245.1
65～69	55 274	25 569	1 575.7	660.0	238.7
70～74	80 211	40 631	2 659.5	1 134.9	234.3
75～79	99 358	60 038	4 435.6	2 011.3	220.5
80～84	89 517	84 694	7 367.7	3 892.2	189.3
85～89	70 123	95 287	12 634.8	7 461.8	169.3
90歳以上	57 163	130 522	21 901.5	15 897.9	137.8

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 死亡率性比＝男の死亡率/女の死亡率×100

(2) 死因

① 死因順位

平成 17 年の死亡数を死因順位別にみると、第 1 位は悪性新生物（がん）で 32 万 5885 人、死亡率（人口 10 万対）258.2、第 2 位は心疾患（心臓病）17 万 3026 人、137.1、第 3 位は脳血管疾患（脳卒中）13 万 2799 人、105.2 となっている。（表 7）

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物（がん）は一貫して上昇を続け、昭和 56 年以降死因順位第 1 位となり、平成 17 年の全死亡者に占める割合は 30.1%となっている。全死亡者のおよそ 3 人に 1 人は悪性新生物（がん）で死亡したことになる。

心疾患（心臓病）は昭和 60 年に脳血管疾患（脳卒中）にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率とも上昇傾向を示している。平成 17 年の全死亡者に占める割合は 16.0%となっている。

脳血管疾患（脳卒中）は昭和 26 年に結核にかわって第 1 位となったが、45 年をピークに低下しはじめ、56 年には悪性新生物（がん）にかわり第 2 位に、更に、60 年には心疾患（心臓病）にかわり第 3 位となりその後も死亡数・死亡率とも低下を続けた。全死亡者に占める割合は 12.3%となっている。（図 5、図 6）

図5 主な死因別死亡数の割合(平成17年)

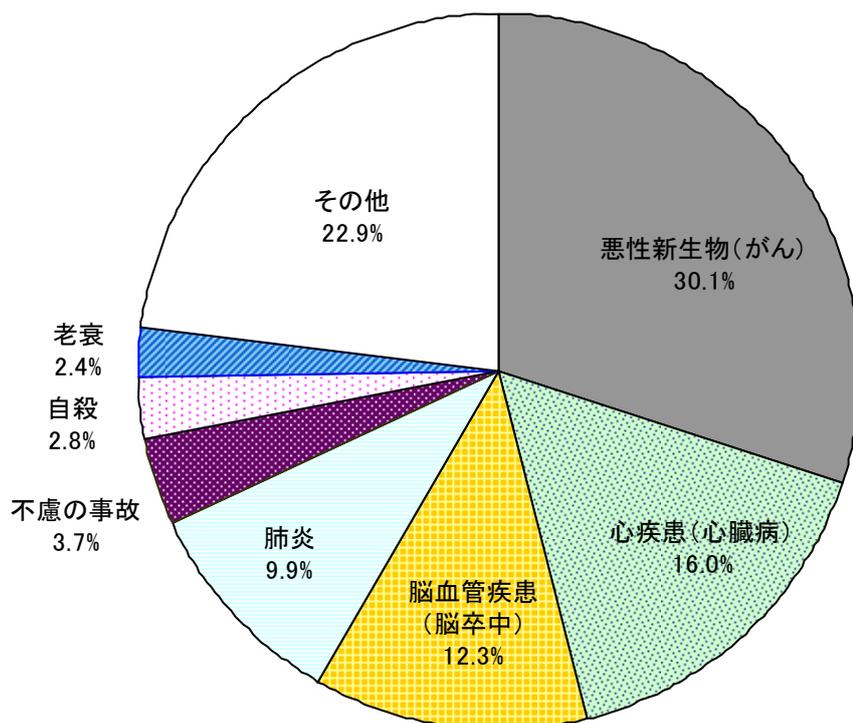
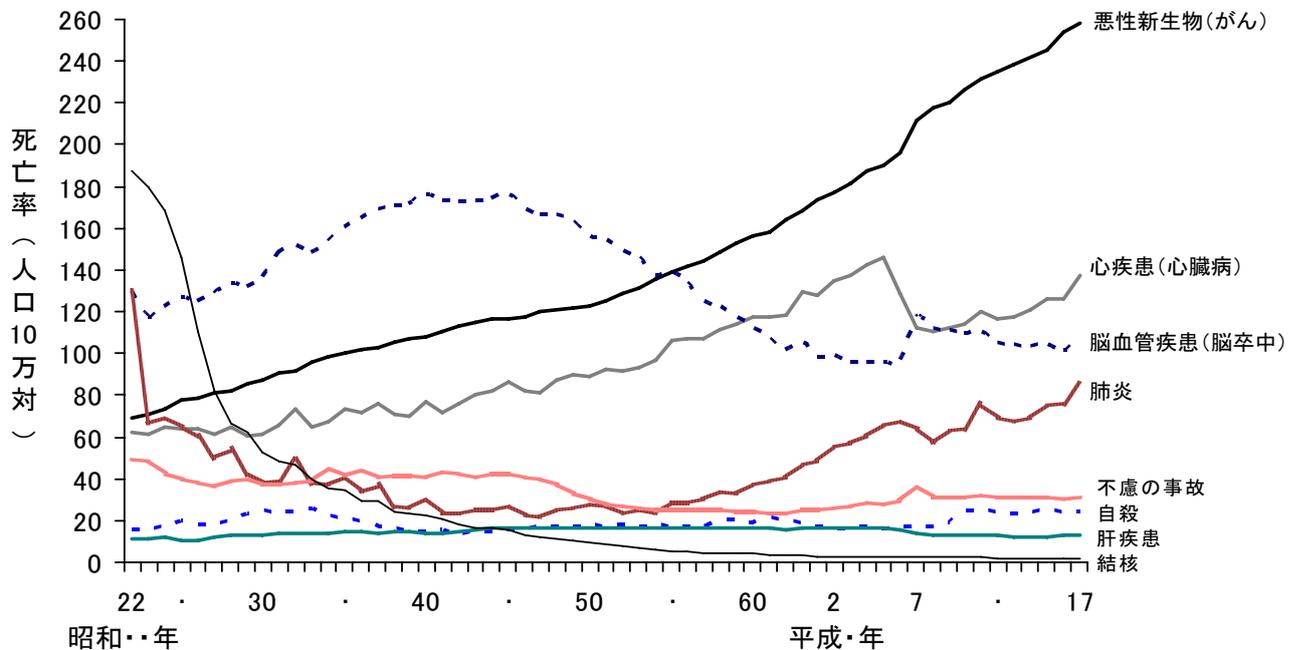


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成17年						平成16年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 死 因	1 084 012	858.9	585 118	949.6	498 894	772.4	1 028 602	815.2
悪 性 新 生 物 (1)	325 885	258.2	(1) 196 577	319.0	(1) 129 308	200.2	(1) 320 358	253.9
心 疾 患 (2)	173 026	137.1	(2) 83 911	136.2	(2) 89 115	138.0	(2) 159 625	126.5
脳 血 管 疾 患 (3)	132 799	105.2	(3) 63 637	103.3	(3) 69 162	107.1	(3) 129 055	102.3
肺 炎 (4)	107 210	84.9	(4) 57 289	93.0	(4) 49 921	77.3	(4) 95 534	75.7
不 慮 の 事 故 (5)	39 787	31.5	(5) 24 571	39.9	(6) 15 216	23.6	(5) 38 193	30.3
自 殺 (6)	30 539	24.2	(6) 22 230	36.1	(8) 8 309	12.9	(6) 30 247	24.0
老 衰 (7)	26 336	20.9	(11) 6 676	10.8	(5) 19 660	30.4	(7) 24 126	19.1
腎 不 全 (8)	20 510	16.3	(9) 9 447	15.3	(7) 11 063	17.1	(8) 19 117	15.2
肝 疾 患 (9)	16 409	13.0	(8) 10 990	17.8	(10) 5 419	8.4	(9) 15 885	12.6
慢性閉塞性肺疾患 (10)	14 415	11.4	(7) 11 018	17.9	(15) 3 397	5.3	(10) 13 444	10.7

注：1) () 内の数字は死因順位を示す。
 2) 男の10位は「糖尿病」で死亡数は7 121、死亡率は11.6である。
 3) 女の9位は「糖尿病」で死亡数は6 481、死亡率は10.0である。
 4) 「結核」は死亡数が2 295、死亡率は1.8で第25位となっている。

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



注：1) 平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。
 2) 平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

② 年齢別死因

平成17年の死因を性・年齢（5歳階級）別に構成割合で見ると、5～14歳では不慮の事故及び悪性新生物（がん）が、15～19歳及び20歳代では不慮の事故及び自殺が多く、30歳代、40歳代では自殺及び悪性新生物（がん）が多い。40歳代からは年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物（がん）の占める割合が多くなり、男では60歳代で、女では50歳代でピークとなる。それ以降は男女とも心疾患（心臓病）、脳血管疾患（脳卒中）、肺炎の占める割合が、年齢が高くなるとともに多くなり、男では90歳以上で肺炎が最も多く、女では85歳以上で心疾患（心臓病）が最も多くなっている。（図7-1）

また、減少を続ける1歳未満の乳児死亡数は、明治32年以来初めて3000人を下回り、その死因別構成割合をみると、先天奇形、変形及び染色体異常の占める割合が多い。（図7-2）

図7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成17年）

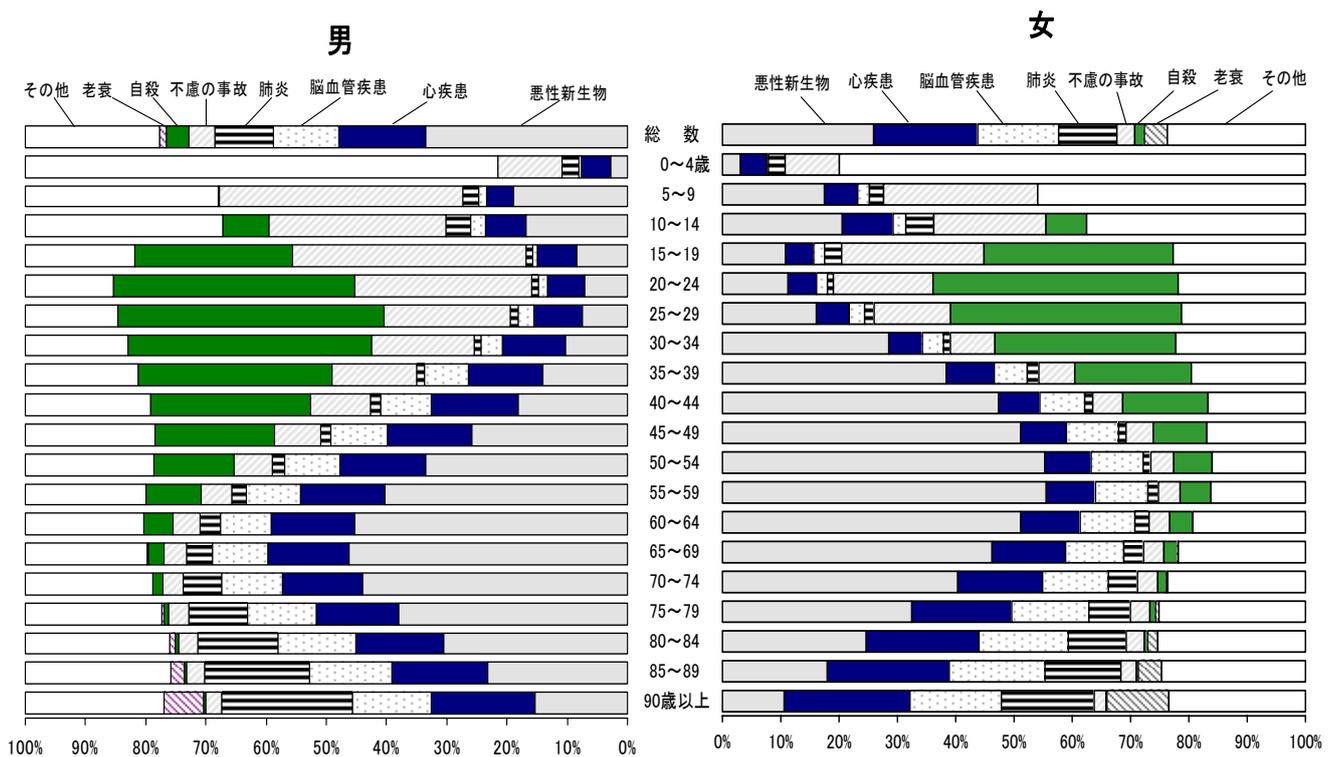
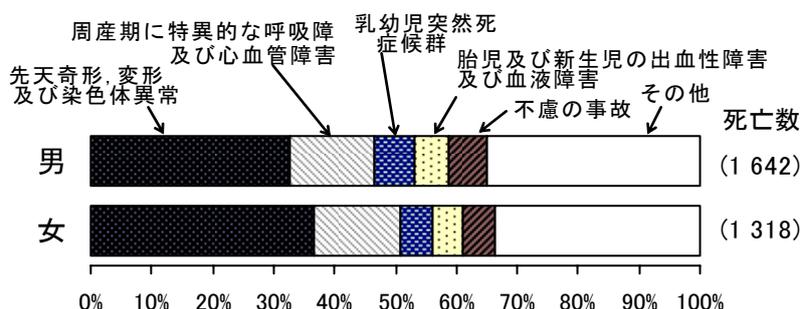


図7-2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成17年）



③ 部位別にみた悪性新生物（がん）

悪性新生物（がん）について死亡数・死亡率を部位別にみると、男の「肺」は上昇傾向が著しく、平成5年に「胃」を上回って第1位となり、平成17年の死亡数は4万5187人、死亡率（人口10万対）は73.3となっている。

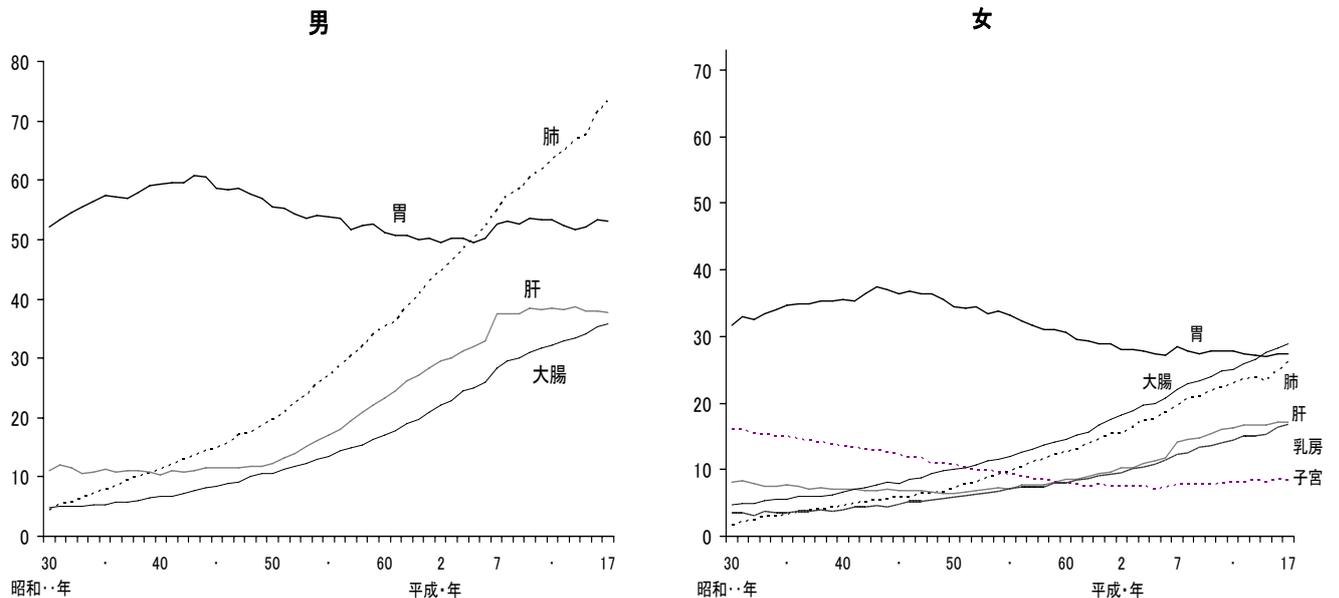
また、女の「大腸」は上昇傾向が続いており、平成15年に「胃」を上回って第1位となり、平成17年の死亡数は1万8679人、死亡率（人口10万対）は28.9となっている。（表8、図8）

表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

部位	昭和30年	40	50	60	平成7年	16	17
死 亡 数							
男							
胃	22 899	28 636	30 403	30 146	32 015	32 851	32 637
肝	4 877	5 006	6 677	13 780	22 773	23 421	23 196
肺	1 893	5 404	10 711	20 837	33 389	43 921	45 187
大腸 ¹⁾	2 079	3 265	5 799	10 112	17 312	21 835	22 148
女							
胃	14 407	17 749	19 454	18 756	18 061	17 711	17 669
肝	3 700	3 499	3 696	5 192	8 934	11 089	11 064
肺	818	2 321	4 048	7 753	12 356	16 001	16 871
乳房	1 572	1 966	3 262	4 922	7 763	10 524	10 720
子宮	7 289	6 689	6 075	4 912	4 865	5 525	5 377
大腸 ¹⁾	2 160	3 335	5 654	8 926	13 962	18 207	18 679
死 亡 率							
男							
胃	52.2	59.4	55.6	51.1	52.6	53.3	53.0
肝	11.1	10.4	12.2	23.3	37.4	38.0	37.6
肺	4.3	11.2	19.6	35.3	54.8	71.3	73.3
大腸 ¹⁾	4.7	6.8	10.6	17.1	28.4	35.4	35.9
女							
胃	31.7	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	27.4
肝	8.1	7.0	6.5	8.5	14.1	17.2	17.1
肺	1.8	4.6	7.2	12.7	19.5	24.8	26.1
乳房	3.5	3.9	5.8	8.0	12.2	16.3	16.6
子宮	16.0	13.4	10.7	8.0	7.7	8.6	8.3
大腸 ¹⁾	4.8	6.7	10.0	14.6	22.0	28.2	28.9

注：1) 大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移



4 婚姻

平成17年の婚姻件数は71万4261組で、前年の72万417組より6156組減少し、婚姻率（人口千対）は5.7で前年と同率である。

婚姻件数は昭和40年代後半には100万組を超え、婚姻率（人口千対）も10.0以上で、婚姻ブームを呈した。その後は組数・率とも低下傾向となり、63年以降は増加に転じ、平成5年以降はほぼ横ばいで推移していたが、平成9年から平成11年にかけて減少し、再び平成12、13年に増加した後、平成14年から4年連続で減少している。（図9）

初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合を10年ごとにみると、ピーク時の年齢が上昇し、割合の高さは低下し、高い年齢の割合が増加している。（図10）

年齢（5歳階級）別にみた妻の5年間初婚率（女子人口百対）の推移をみると、20歳代は低下傾向、30歳代は上昇傾向であるが、平成17年は20歳代前半は微減、20歳代後半は横ばい、30歳代は上昇している。（表9）

平成17年の平均初婚年齢は、夫29.8歳、妻28.0歳で、夫、妻ともに前年より0.2歳上昇している。これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫は、宮崎県及び熊本県で28.8歳、妻は福島県で27.0歳であり、最も高いのは夫・妻とも東京都で、夫31.2歳、妻29.2歳である。（表10-1、表10-2）

再婚の割合をみると、平成17年は夫は18.2%、妻は16.0%で、前年と比べると夫0.4ポイント、妻0.1ポイント増加している。（表11）

図9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

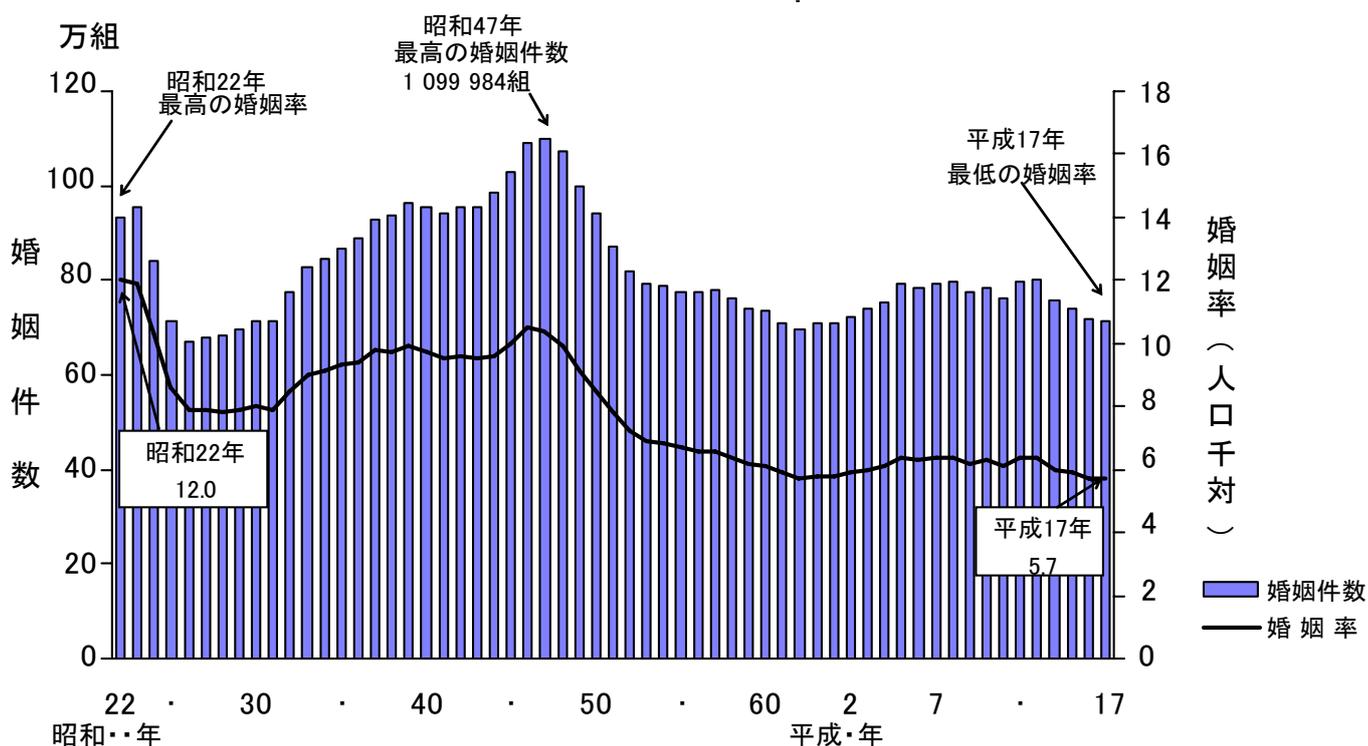
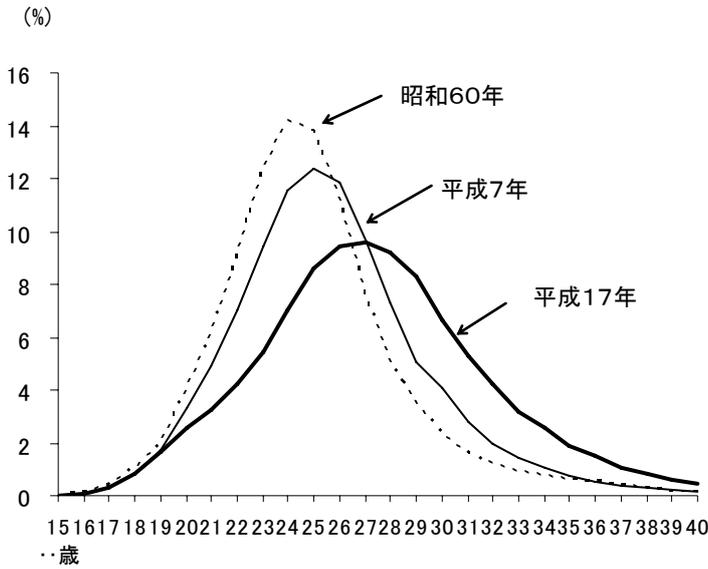


図10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表9 年齢（5歳階級）別にみた妻の5年間初婚率（女子人口百対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 2年	27.2	34.3	6.4	1.3
7	24.4	35.3	9.2	1.9
12	21.7	32.6	11.0	2.7
13	21.2	32.5	11.2	2.9
14	19.4	31.0	11.3	2.9
15	18.1	30.4	11.6	3.1
16	17.1	29.7	11.8	3.3
17	16.8	29.7	12.2	3.6

注：1) 各届出年に結婚生活に入ったもの。
2) 5年間初婚率は各年齢階級の初婚率を5倍したものであり、仮にその年次の初婚率で推移するとしたとき、その年齢階級の女子人口のうち「5年間で初婚となる女子人口の割合」に相当する。

表11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
昭和50年	9.1	7.5
55	10.8	9.5
60	12.2	10.8
平成 2年	13.4	11.7
7	13.2	11.6
12	15.0	13.4
13	15.7	14.0
14	16.3	14.8
15	17.1	15.4
16	17.8	15.9
17	18.2	16.0

表10-1 平均初婚年齢の年次推移

	夫	妻
	歳	歳
平成 2年	28.4	25.9
7	28.5	26.3
12	28.8	27.0
15	29.4	27.6
16	29.6	27.8
17	29.8	28.0

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢

	平成17年	
都道府県	夫	妻
	歳	歳
北海道	29.2	27.8
青森	29.0	27.3
岩手	29.3	27.2
宮城	29.5	27.5
秋田	29.2	27.5
山形	29.3	27.3
福島	29.0	27.0
茨城	29.7	27.6
栃木	29.7	27.6
群馬	29.6	27.7
埼玉	30.2	28.2
千葉	30.3	28.3
東京都	31.2	29.2
神奈川県	30.6	28.6
新潟	29.7	27.7
富山	29.7	27.7
石川	29.6	27.8
福井	29.3	27.4
山梨	30.1	28.0
長野	30.2	28.2
岐阜	29.5	27.5
静岡県	29.8	27.8
愛知	29.7	27.8
三重	29.2	27.5
滋賀	29.6	27.7
京都	29.9	28.3
大阪	29.9	28.2
兵庫県	29.7	28.0
奈良	29.7	28.0
和歌山	29.1	27.4
鳥取	29.1	27.3
島根	29.1	27.4
岡山	29.2	27.4
広島	29.3	27.6
山口	28.9	27.3
徳島	29.2	27.5
香川	28.9	27.3
愛媛	29.0	27.4
高知	29.5	27.9
福岡	29.4	28.0
佐賀	29.0	27.4
長崎	29.0	27.7
熊本	28.8	27.3
大分	29.1	27.8
宮崎	28.8	27.3
鹿児島	29.0	27.4
沖縄	29.1	27.7

注：平成17年に結婚生活に入ったもの。

5 離婚

平成17年の離婚件数は26万929組で、前年の27万804組より8875組減少した。

離婚件数は昭和39年以降毎年増加し、46年には10万組を超えた。その後も増加を続け、58年をピークに減少に転じ、平成3年から再び増加していたが、15年から3年連続で減少している。

(図11)

離婚率(人口千対)は2.08で、前年の2.15を下回った(統計表第2表)。

離婚件数を同居期間別にみると、ほぼ全ての期間で減少している(表12、図12)。

図11 離婚件数及び離婚率の年次推移

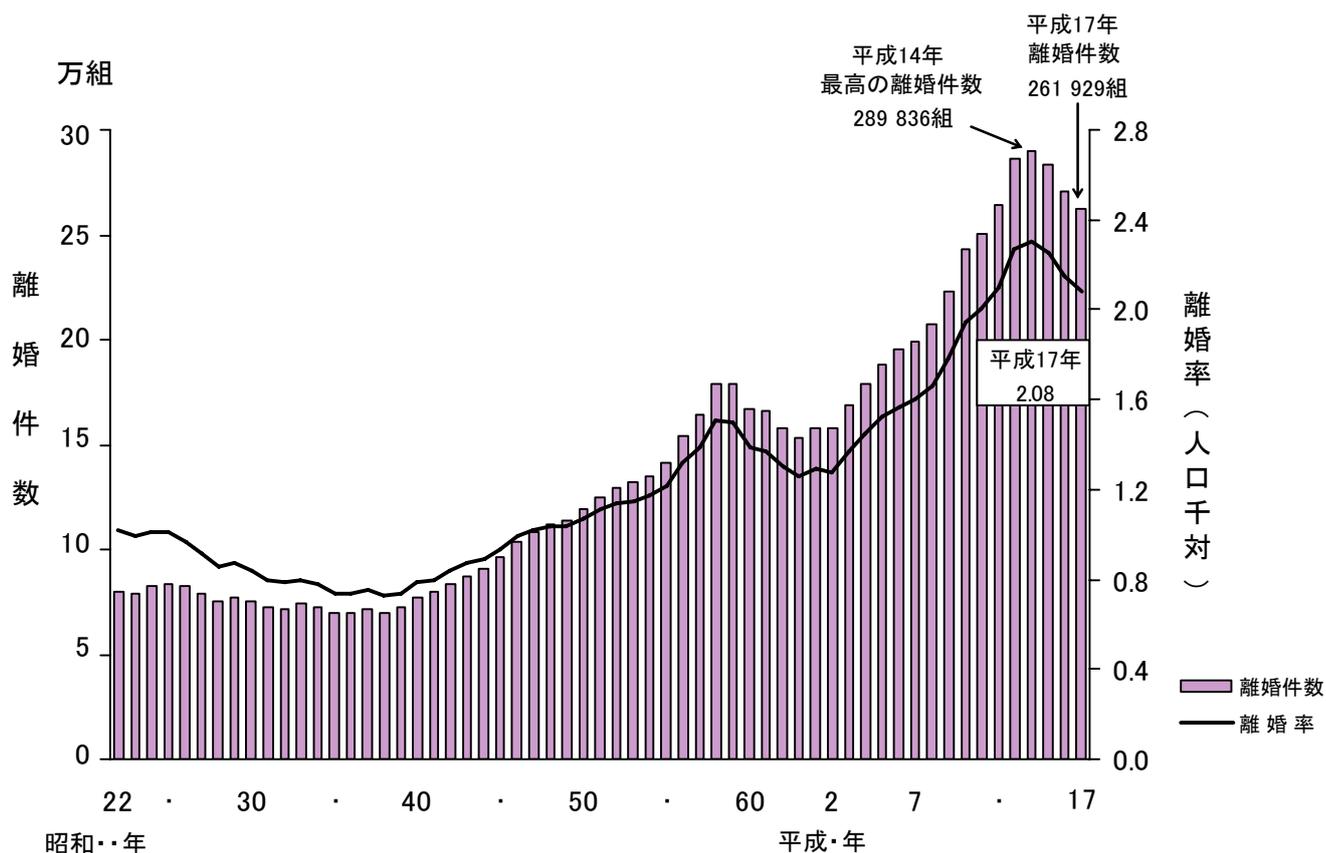
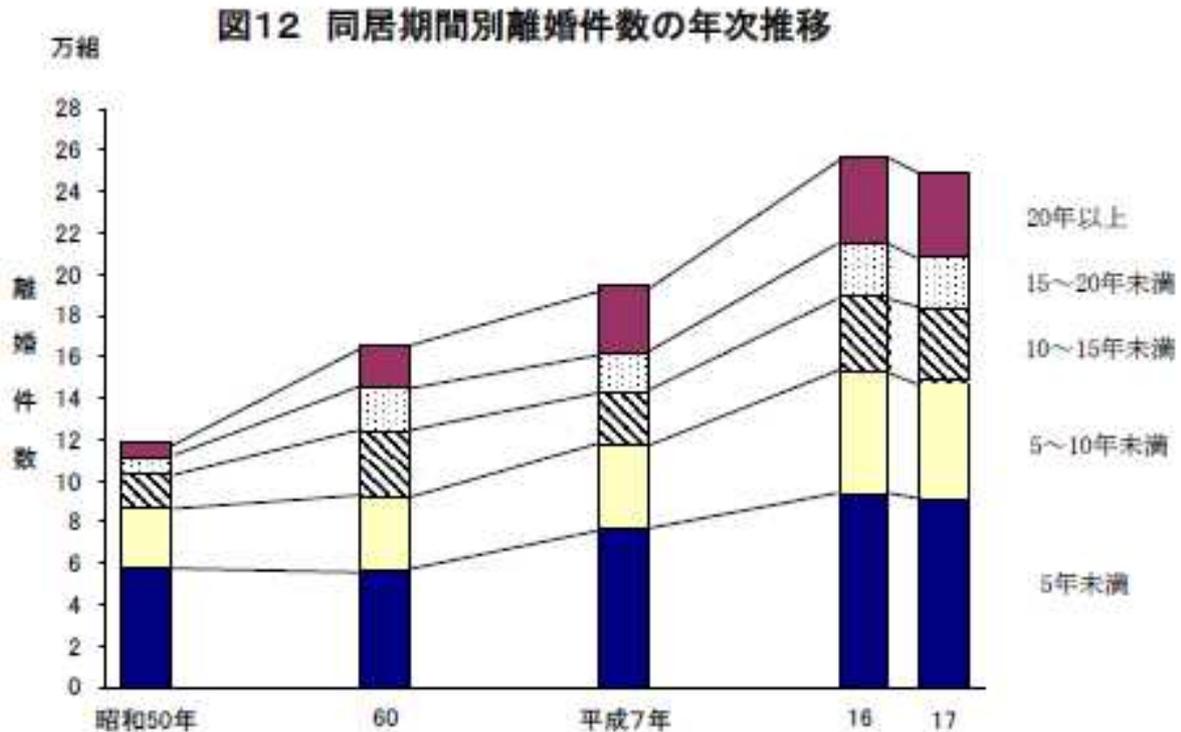


表 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和50年	60	平成7年	16	17	対前年 増 減	対前年 増加率 (%)
総 数 ¹⁾	119 135	166 640	199 016	270 804	261 929	△ 8 875	△ 3.3
5年未満	58 336	56 442	76 710	93 926	90 889	△ 3 037	△ 3.2
1年未満	14 773	12 656	14 893	17 276	16 559	△ 717	△ 4.2
1～2	13 014	12 817	18 081	20 557	20 159	△ 398	△ 1.9
2～3	11 731	11 710	16 591	20 398	19 437	△ 961	△ 4.7
3～4	10 141	10 434	14 576	18 971	18 145	△ 826	△ 4.4
4～5	8 677	8 825	12 569	16 724	16 589	△ 135	△ 0.8
5～10年未満	28 597	35 338	41 185	58 923	57 564	△ 1 359	△ 2.3
10～15年未満	16 206	32 310	25 308	36 701	35 097	△ 1 604	△ 4.4
15～20年未満	8 172	21 528	19 153	25 317	24 887	△ 430	△ 1.7
20年以上	6 810	20 434	31 877	41 958	40 395	△ 1 563	△ 3.7
20～25年未満	4 050	12 706	17 847	19 041	18 401	△ 640	△ 3.4
25～30	1 894	4 827	8 684	11 449	10 747	△ 702	△ 6.1
30～35	566	1 793	3 506	6 758	6 453	△ 305	△ 4.5
35年以上	300	1 108	1 840	4 710	4 794	84	1.8

注：1)総数には同居期間不詳を含む。



統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年次	出生数	死亡数	(再掲)		自然増加数
			乳児死亡数	新生児死亡数	
明治 32年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
大正 元年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
昭和 元年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注：*印は概数である。

年 次	出 生 数	死 亡 数	(再 掲)		自然増加数
			乳児死亡数	新 生 児 死 亡 数	
昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
平成 元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
* 17	1 062 604	1 084 012	2 960	1 509	△ 21 408

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-2)

(参考)

年次	死産数			周産期 死亡数 ²⁾	婚姻件数	離婚件数	周産期 死亡数 ³⁾
	総数	自然	人工				
明治 32年	135 727	297 372	66 545	...
33	137 987	346 528	63 828	...
34	155 489	378 457	63 442	...
35	157 708	394 165	64 139	...
36	153 920	370 961	65 392	...
37	147 058	398 930	63 913	...
38	142 092	350 898	60 061	...
39	149 731	352 857	65 398	...
40	158 814	432 949	61 058	...
41	162 676	461 254	60 226	...
42	161 576	437 882	58 936	...
43	157 392	441 222	59 432	...
44	155 319	433 117	58 067	...
大正 元年	147 545	430 422	59 143	...
2	147 769	431 287	59 536	...
3	145 692	452 932	59 992	...
4	141 301	445 210	59 943	...
5	139 998	433 680	60 254	...
6	140 328	447 970	55 812	...
7	142 507	500 580	56 474	...
8	132 939	480 136	56 812	...
9	144 038	546 207	55 511	...
10	138 301	519 217	53 402	...
11	132 244	515 916	53 053	...
12	133 863	512 689	51 212	...
13	125 839	513 130	51 770	...
14	124 403	521 438	51 687	...
昭和 元年	124 038	502 847	50 119	...
2	116 922	487 850	50 626	...
3	120 191	499 555	49 119	...
4	116 971	497 410	51 222	...
5	117 730	506 674	51 259	...
6	116 509	496 574	50 609	...
7	119 579	515 270	51 437	...
8	114 138	486 058	49 282	...
9	113 043	512 654	48 610	...
10	115 593	556 730	48 528	...
11	111 056	549 116	46 167	...
12	111 485	674 500	46 500	...
13	99 528	538 831	44 656	...
14	98 349	554 321	45 970	...
15	102 034	666 575	48 556	...
16	103 400	791 625	49 424	...
17	95 448	679 044	46 268	...
18	92 889	743 842	49 705	...
22	123 837	934 170	79 551	...
23	1) 143 963	* 104 325	* 31 055	...	953 999	79 032	...
24	1) 192 677	* 114 161	* 75 585	...	842 170	82 575	...
25	216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843
26	217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865
27	203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527
28	193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932
29	187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776

注： *印は概数である。

1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工の不詳を含む。

2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

(参考)

年次	死産数			周産期 死亡数 ²⁾	婚姻件数	離婚件数	周産期 死亡数 ³⁾
	総数	自然	人工				
昭和 30 年	183 265	85 159	98 106	…	714 861	75 267	75 918
31	179 007	86 558	92 449	…	715 934	72 040	75 706
32	176 353	86 895	89 458	…	773 362	71 651	70 502
33	185 148	92 282	92 866	…	826 902	74 004	72 625
34	181 893	92 688	89 205	…	847 135	72 455	69 912
35	179 281	93 424	85 857	…	866 115	69 410	66 552
36	179 895	96 032	83 863	…	890 158	69 323	65 063
37	177 363	97 256	80 107	…	928 341	71 394	62 650
38	175 424	97 711	77 713	…	937 516	69 996	60 049
39	168 046	97 357	70 689	…	963 130	72 306	56 827
40	161 617	94 476	67 141	…	954 852	77 195	54 904
41	148 248	83 253	64 995	…	940 120	79 432	42 583
42	149 389	90 938	58 451	…	953 096	83 478	50 846
43	143 259	87 381	55 878	…	956 312	87 327	45 921
44	139 211	85 788	53 423	…	984 142	91 280	43 419
45	135 095	84 073	51 022	…	1 029 405	95 937	41 917
46	130 920	83 827	47 093	…	1 091 229	103 595	40 900
47	125 154	81 741	43 413	…	1 099 984	108 382	38 754
48	116 171	78 613	37 558	…	1 071 923	111 877	37 598
49	109 738	74 618	35 120	…	1 000 455	113 622	34 383
50	101 862	67 643	34 219	…	941 628	119 135	30 513
51	101 930	64 046	37 884	…	871 543	124 512	27 133
52	95 247	60 330	34 917	…	821 029	129 485	24 708
53	87 463	55 818	31 645	…	793 257	132 146	22 217
54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
平成 元年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
* 17	31 830	13 496	18 334	5 147	714 261	261 929	3 486

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移（2-1）

年次	出生 (人口千対)	死亡	乳児死亡 (出生千対)	新生児死亡	自然増加 (人口千対)
明治 32年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5
33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6
34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0
35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3
36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3
37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5
38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6
39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3
40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6
41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2
42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4
43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2
44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1
大正 元年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9
2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2
3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6
4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4
5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5
6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3
7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5
8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0
9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8
10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4
11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9
12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2
13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6
14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7
昭和 元年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5
2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7
3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4
4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9
5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2
6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2
7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2
8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8
9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8
10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9
11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4
12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8
13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4
14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9
15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9
16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7
17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7
18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3
22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7
23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6
24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4
25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2
26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4
27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4
28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6
29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9

注：*印は概数による率である。

年 次	出 生 (人 口 千 对)	死 亡	乳児死亡 (出 生 千 对)	新生児死亡	自然増加 (人口千対)
昭和 30 年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6
31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4
32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9
33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5
34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1
35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6
36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5
37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5
38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3
39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7
40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4
41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0
42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7
43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8
44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7
45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8
46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6
47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8
48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8
49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1
50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8
51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0
52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4
53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8
54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3
55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3
56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9
57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8
58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5
59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3
60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6
61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2
62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9
63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3
平成 元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7
2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3
3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2
4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9
5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5
6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9
7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1
8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5
9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2
10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1
11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6
12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8
13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6
14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4
15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9
16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7
* 17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移（2-2）

（参考）

年次	1) 死産 (出産千対)			2) 周産期死亡 (出産千対)	婚姻 (人口千対)	離婚 (人口千対)	合計特殊出生率	3) 周産期死亡 (出生千対)
	総数	自然	人工					
明治 32年	89.1	6.9	1.53
33	88.5	7.9	1.46
34	93.8	8.5	1.43
35	94.5	8.8	1.43
36	93.6	8.1	1.44
37	92.6	8.6	1.39
38	89.1	7.5	1.29
39	97.0	7.5	1.39
40	89.6	9.1	1.29
41	89.1	9.6	1.26
42	87.1	9.0	1.21
43	84.2	9.0	1.21
44	81.6	8.7	1.16
大正 元年	78.3	8.5	1.17
2	77.6	8.4	1.16
3	74.6	8.7	1.15
4	72.8	8.4	1.14
5	72.0	8.1	1.13
6	71.9	8.3	1.03
7	73.7	9.1	1.03
8	69.5	8.7	1.03
9	66.4	9.8	0.99
10	65.0	9.2	0.94
11	62.9	9.0	0.92
12	61.5	8.8	0.88
13	59.2	8.7	0.88
14	56.3	8.7	0.87
昭和 元年	55.7	8.3	0.83
2	53.7	7.9	0.82
3	53.3	8.0	0.78
4	53.3	7.8	0.81
5	53.4	7.9	0.80
6	52.5	7.6	0.77
7	51.9	7.8	0.77
8	51.1	7.2	0.73
9	52.4	7.5	0.71
10	50.1	8.0	0.70
11	50.2	7.8	0.66
12	48.6	9.5	0.66
13	49.1	7.6	0.63
14	49.2	7.8	0.64
15	46.0	9.3	0.68
16	43.4	11.0	0.69
17	41.0	9.4	0.64
18	39.6	10.2	0.68
22	44.2	12.0	1.02	4.54	...
23	50.9	* 36.9	* 10.9	...	11.9	0.99	4.40	...
24	66.7	* 39.1	* 25.9	...	10.3	1.01	4.32	...
25	84.9	41.7	43.2	...	8.6	1.01	3.65	46.6
26	92.2	43.0	49.3	...	7.9	0.97	3.26	46.7
27	92.3	42.8	49.5	...	7.9	0.92	2.98	45.6
28	93.8	43.5	50.2	...	7.8	0.86	2.69	46.0
29	95.6	44.6	51.1	...	7.9	0.87	2.48	45.1

注： *印は概数による率である。

- 1) 死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除している。
- 2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。
- 3) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

(参考)

年次	1) 死産 (出産千対)			2) 周産期死亡 (出産千対)		婚姻	離婚	合計特殊 出生率	3) 周産期 死亡 (出生千対)
	総数	自然	人工			(人口千対)			
昭和 30 年	95.8	44.5	51.3	8.0	0.84	2.37	43.9
31	97.1	46.9	50.1	7.9	0.80	2.22	45.5
32	101.2	49.9	51.3	8.5	0.79	2.04	45.0
33	100.7	50.2	50.5	9.0	0.80	2.11	43.9
34	100.6	51.3	49.3	9.1	0.78	2.04	43.0
35	100.4	52.3	48.1	9.3	0.74	2.00	41.4
36	101.7	54.3	47.4	9.4	0.74	1.96	40.9
37	98.8	54.2	44.6	9.8	0.75	1.98	38.7
38	95.6	53.3	42.4	9.7	0.73	2.00	36.2
39	89.2	51.7	37.5	9.9	0.74	2.05	33.1
40	81.4	47.6	33.8	9.7	0.79	2.14	30.1
41	98.2	55.2	43.1	9.5	0.80	1.58	31.3
42	71.6	43.6	28.0	9.6	0.84	2.23	26.3
43	71.1	43.4	27.7	9.5	0.87	2.13	24.5
44	68.6	42.3	26.3	9.6	0.89	2.13	23.0
45	65.3	40.6	24.7	10.0	0.93	2.13	21.7
46	61.4	39.3	22.1	10.5	0.99	2.16	20.4
47	57.8	37.8	20.1	10.4	1.02	2.14	19.0
48	52.6	35.6	17.0	9.9	1.04	2.14	18.0
49	51.3	34.9	16.4	9.1	1.04	2.05	16.9
50	50.8	33.8	17.1	8.5	1.07	1.91	16.0
51	52.7	33.1	19.6	7.8	1.11	1.85	14.8
52	51.5	32.6	18.9	7.2	1.14	1.80	14.1
53	48.7	31.1	17.6	6.9	1.15	1.79	13.0
54	47.7	29.6	18.1	21.6	...	6.8	1.17	1.77	12.5
55	46.8	28.8	18.0	20.2	...	6.7	1.22	1.75	11.7
56	49.2	28.8	20.5	19.5	...	6.6	1.32	1.74	10.8
57	49.0	27.7	21.3	18.3	...	6.6	1.39	1.77	10.1
58	45.5	25.4	20.1	16.9	...	6.4	1.51	1.80	9.3
59	46.3	24.3	22.0	16.6	...	6.2	1.50	1.81	8.7
60	46.0	22.1	23.9	15.4	...	6.1	1.39	1.76	8.0
61	45.3	21.4	23.9	14.6	...	5.9	1.37	1.72	7.3
62	45.3	21.2	24.0	13.7	...	5.7	1.30	1.69	6.9
63	43.4	19.5	23.9	12.7	...	5.8	1.26	1.66	6.5
平成 元年	42.4	18.9	23.5	12.1	...	5.8	1.29	1.57	6.0
2	42.3	18.3	23.9	11.1	...	5.9	1.28	1.54	5.7
3	39.7	17.5	22.1	8.5	...	6.0	1.37	1.53	5.3
4	38.9	17.2	21.6	8.1	...	6.1	1.45	1.50	5.2
5	36.6	16.4	20.2	7.7	...	6.4	1.52	1.46	5.0
6	33.5	15.4	18.1	7.5	...	6.3	1.57	1.50	5.0
7	32.1	14.9	17.2	7.0	...	6.4	1.60	1.42	4.7
8	31.7	14.7	17.0	6.7	...	6.4	1.66	1.43	4.4
9	32.1	14.2	17.9	6.4	...	6.2	1.78	1.39	4.2
10	31.4	13.6	17.8	6.2	...	6.3	1.94	1.38	4.1
11	31.6	13.7	17.9	6.0	...	6.1	2.00	1.34	4.0
12	31.2	13.2	18.1	5.8	...	6.4	2.10	1.36	3.8
13	31.0	13.0	18.0	5.5	...	6.4	2.27	1.33	3.6
14	31.1	12.7	18.3	5.5	...	6.0	2.30	1.32	3.7
15	30.5	12.6	17.8	5.3	...	5.9	2.25	1.29	3.6
16	30.0	12.5	17.5	5.0	...	5.7	2.15	1.29	3.3
* 17	29.1	12.3	16.8	4.8	...	5.7	2.08	1.25	3.3

第3-1表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和50年	60	平成7年	14	15	16	17
総 ¹⁾ 数	1 901 440	1 431 577	1 187 064	1 153 855	1 123 610	1 110 721	1 062 604
～14歳	9	23	37	52	49	45	41
15～19	15 990	17 854	16 075	21 349	19 532	18 546	16 531
20～24	479 041	247 341	193 514	152 493	142 068	136 486	128 140
25～29	1 014 624	682 885	492 714	425 817	395 975	370 220	339 357
30～34	320 060	381 466	371 773	406 482	408 585	415 903	404 731
35～39	62 663	93 501	100 053	131 040	139 489	150 222	153 448
40～44	8 727	8 224	12 472	16 200	17 478	18 790	19 753
45～49	312	244	414	396	402	483	563
50歳以上	7	1	-	10	19	16	34

注：1) 総数には母の年齢不詳を含む。

第3-2表 出生数の年次推移，出生順位別

出生順位	昭和50年	60	平成7年	14	15	16	17
総数	1 901 440	1 431 577	1 187 064	1 153 855	1 123 610	1 110 721	1 062 604
第1子	862 356	602 005	567 530	571 501	547 170	537 913	512 447
第2子	767 669	562 920	428 394	421 042	419 100	417 647	399 333
第3子以上	271 415	266 652	191 140	161 312	157 340	155 161	150 824

第4表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総数（3-1）

年齢	昭和30年	40	50	60	平成7年	16	17
¹⁾ 総数	776.8	712.7	631.2	625.5	741.9	815.2	858.9
0～4歳	1 074.8	523.4	260.5	145.3	118.3	75.4	73.5
5～9	129.0	57.8	36.1	21.1	19.0	10.3	11.2
10～14	68.9	39.4	24.9	16.5	15.9	9.8	9.9
15～19	127.4	68.0	60.2	47.2	39.6	28.8	27.7
20～24	230.7	114.7	81.4	57.1	52.1	43.2	45.9
25～29	254.6	133.5	82.6	60.9	53.4	48.6	50.5
30～34	272.3	162.9	106.5	74.5	64.4	62.0	61.9
35～39	321.6	214.7	152.9	104.2	88.7	87.2	86.7
40～44	419.4	292.8	241.6	175.6	143.7	129.5	128.5
45～49	617.2	458.0	354.8	277.1	228.9	207.5	205.9
50～54	936.3	713.4	510.8	455.6	371.5	339.4	332.0
55～59	1 403.6	1 147.9	802.9	654.3	565.3	485.1	487.6
60～64	2 229.4	1 922.6	1 297.2	948.7	917.4	715.3	738.1
65～69	3 556.2	3 161.2	2 230.4	1 554.0	1 397.9	1 114.6	1 095.1
70～74	5 756.7	5 297.3	3 931.4	2 717.5	2 191.5	1 817.4	1 832.0
75～79	8 831.6	8 927.2	6 712.6	4 980.5	3 827.8	2 994.2	3 050.6
80～84	13 110.6	14 918.1	11 461.4	8 540.5	6 882.0	4 979.5	5 135.9
85～89	19 985.6	21 656.2	18 042.0	14 725.6	11 847.5	9 037.4	9 028.9
90歳以上	29 973.2	28 683.1	29 126.2	23 364.8	21 468.2	16 605.1	17 346.1

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

第4表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和30年	40	50	60	平成7年	16	17
¹⁾ 総 数	832.7	785.0	690.4	690.6	822.9	904.4	949.6
0～4歳	1 136.2	587.6	292.6	158.8	129.0	81.6	80.0
5～9	145.0	70.7	44.7	26.6	22.6	12.6	13.7
10～14	75.0	48.4	30.0	19.9	18.8	11.8	11.8
15～19	147.4	91.7	86.5	69.8	55.4	37.8	36.6
20～24	270.1	149.2	107.0	81.4	73.1	58.7	61.0
25～29	284.5	162.2	103.5	80.7	73.3	64.9	68.2
30～34	293.2	199.8	132.3	93.3	81.7	83.1	80.2
35～39	345.6	260.1	194.2	131.9	113.5	113.0	113.0
40～44	466.6	360.0	315.8	227.7	183.8	172.4	169.5
45～49	713.6	566.8	458.8	371.7	295.2	276.2	275.5
50～54	1 102.4	892.5	654.2	624.6	498.6	457.5	449.4
55～59	1 688.0	1 465.3	1 070.5	906.7	784.7	672.3	680.9
60～64	2 724.3	2 483.4	1 720.9	1 314.9	1 311.6	1 025.2	1 062.3
65～69	4 342.3	4 022.8	2 949.0	2 159.4	2 002.8	1 608.1	1 575.7
70～74	6 986.0	6 641.2	5 045.4	3 707.7	3 154.7	2 649.7	2 659.5
75～79	10 495.3	10 802.0	8 267.6	6 581.0	5 461.1	4 354.0	4 435.6
80～84	15 182.6	17 517.4	13 470.6	10 799.1	9 484.5	7 165.1	7 367.7
85～89	22 368.0	25 131.8	20 562.4	18 136.2	15 648.6	12 421.9	12 634.8
90歳以上	35 271.9	30 164.6	30 858.0	25 429.3	26 734.7	20 940.2	21 901.5

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

第4表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和30年	40	50	60	平成7年	16	17
総数 ¹⁾	722.8	643.1	574.0	562.7	664.0	730.1	772.4
0～4歳	1 010.7	456.6	226.8	131.2	107.2	68.9	66.7
5～9	112.2	44.3	27.1	15.3	15.2	7.9	8.6
10～14	62.6	30.2	19.5	13.1	12.9	7.7	7.9
15～19	107.2	43.7	33.0	23.7	22.9	19.4	18.4
20～24	191.3	80.8	55.5	31.8	30.2	26.7	29.9
25～29	225.2	105.2	61.5	40.7	32.8	31.7	31.9
30～34	254.8	125.6	80.6	55.6	46.6	40.4	43.0
35～39	301.7	169.3	111.6	76.0	63.5	60.9	59.9
40～44	377.6	236.0	167.0	124.1	103.2	86.0	86.8
45～49	525.0	368.2	252.2	184.6	162.1	138.4	135.7
50～54	769.3	556.9	392.6	289.7	246.8	222.1	215.3
55～59	1 117.5	852.2	590.4	414.9	353.7	302.4	298.6
60～64	1 751.3	1 392.7	948.6	663.0	548.9	423.9	433.5
65～69	2 866.9	2 379.6	1 630.1	1 106.4	864.2	668.8	660.0
70～74	4 843.1	4 187.7	3 036.7	1 998.4	1 513.4	1 118.6	1 134.9
75～79	7 765.1	7 611.8	5 590.0	3 871.3	2 814.8	1 988.2	2 011.3
80～84	11 982.3	13 493.9	10 227.3	7 165.7	5 429.7	3 805.1	3 892.2
85～89	18 945.1	20 153.1	16 820.0	13 067.1	10 072.4	7 539.4	7 461.8
90歳以上	28 149.7	28 134.0	28 499.9	22 490.8	19 574.7	15 194.9	15 897.9

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

第5表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因簡単分類別

(4-1)

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成17年	平成16年	平成17年	平成16年	平成17年
	総 数	1 084 012	1 028 602	858.9	815.2	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	23 431	21 623	18.6	17.1	2.2
01100	腸管感染症	1 752	1 451	1.4	1.1	0.2
01200	結 核	2 295	2 330	1.8	1.8	0.2
01201	呼吸器結核	2 085	2 123	1.7	1.7	0.2
01202	その他の結核	210	207	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	8 496	7 310	6.7	5.8	0.8
01400	ウイルス肝炎	6 038	5 888	4.8	4.7	0.6
01401	B型ウイルス肝炎	786	836	0.6	0.7	0.1
01402	C型ウイルス肝炎	4 851	4 648	3.8	3.7	0.4
01403	その他のウイルス肝炎	401	404	0.3	0.3	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	69	49	0.1	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 781	4 595	3.8	3.6	0.4
02000	新 生 物	335 806	330 258	266.1	261.7	31.0
02100	悪性新生物	325 885	320 358	258.2	253.9	30.1
02101	口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物	5 677	5 573	4.5	4.4	0.5
02102	食道の悪性新生物	11 185	11 172	8.9	8.9	1.0
02103	胃の悪性新生物	50 306	50 562	39.9	40.1	4.6
02104	結腸の悪性新生物	27 117	26 472	21.5	21.0	2.5
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	13 710	13 570	10.9	10.8	1.3
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	34 260	34 510	27.1	27.4	3.2
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	16 582	16 359	13.1	13.0	1.5
02108	膵の悪性新生物	22 918	22 260	18.2	17.6	2.1
02109	喉頭の悪性新生物	1 088	1 042	0.9	0.8	0.1
02110	気管，気管支及び肺の悪性新生物	62 058	59 922	49.2	47.5	5.7
02111	皮膚の悪性新生物	1 207	1 138	1.0	0.9	0.1
02112	乳房の悪性新生物	10 807	10 609	8.6	8.4	1.0
02113	子宮の悪性新生物 ¹⁾	5 377	5 525	8.3	8.6	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 ¹⁾	4 467	4 420	6.9	6.8	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 ²⁾	9 263	8 840	15.0	14.4	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	6 027	5 556	4.8	4.4	0.6

注：1) 女子人口10万に対する率である。

2) 男子人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成17年	平成16年	平成17年	平成16年	平成17年
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 680	1 622	1.3	1.3	0.2
02118	悪性リンパ腫	8 539	8 401	6.8	6.7	0.8
02119	白血 病	7 280	7 048	5.8	5.6	0.7
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	3 927	3 959	3.1	3.1	0.4
02121	その他の悪性新生物	22 410	21 798	17.8	17.3	2.1
02200	その他の新生物	9 921	9 900	7.9	7.8	0.9
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 859	2 855	2.3	2.3	0.3
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 062	7 045	5.6	5.6	0.7
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 164	4 066	3.3	3.2	0.4
03100	貧 血	1 663	1 618	1.3	1.3	0.2
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 501	2 448	2.0	1.9	0.2
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	19 684	18 079	15.6	14.3	1.8
04100	糖 尿 病	13 602	12 637	10.8	10.0	1.3
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	6 082	5 442	4.8	4.3	0.6
05000	精神及び行動の障害	4 594	4 267	3.6	3.4	0.4
05100	血管性及び詳細不明の痴呆	3 328	3 105	2.6	2.5	0.3
05200	その他の精神及び行動の障害	1 266	1 162	1.0	0.9	0.1
06000	神経系の疾患	12 989	11 902	10.3	9.4	1.2
06100	髄 膜 炎	378	311	0.3	0.2	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1 730	1 524	1.4	1.2	0.2
06300	パーキンソン病	3 630	3 267	2.9	2.6	0.3
06400	アルツハイマー病	1 814	1 789	1.4	1.4	0.2
06500	その他の神経系の疾患	5 437	5 011	4.3	4.0	0.5
07000	眼及び付属器の疾患	3	1	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	14	14	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	329 270	310 894	260.9	246.4	30.4
09100	高血圧性疾患	5 832	5 706	4.6	4.5	0.5
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 469	3 372	2.7	2.7	0.3
09102	その他の高血圧性疾患	2 363	2 334	1.9	1.8	0.2
09200	心疾患（高血圧性を除く）	173 026	159 625	137.1	126.5	16.0
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 516	2 336	2.0	1.9	0.2
09202	急性心筋梗塞	47 189	44 463	37.4	35.2	4.4
09203	その他の虚血性心疾患	29 251	26 822	23.2	21.3	2.7
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	7 526	6 930	6.0	5.5	0.7

第5表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別（4-3）

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成17年	平成16年	平成17年	平成16年	
09205	心 筋 症	3 618	3 495	2.9	2.8	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	22 510	20 274	17.8	16.1	2.1
09207	心 不 全	56 317	51 588	44.6	40.9	5.2
09208	その他の心疾患	4 099	3 717	3.2	2.9	0.4
09300	脳血管疾患	132 799	129 055	105.2	102.3	12.3
09301	くも膜下出血	14 878	14 737	11.8	11.7	1.4
09302	脳内出血	33 353	32 060	26.4	25.4	3.1
09303	脳 梗 塞	80 931	78 683	64.1	62.4	7.5
09304	その他の脳血管疾患	3 637	3 575	2.9	2.8	0.3
09400	大動脈瘤及び解離	11 370	10 679	9.0	8.5	1.0
09500	その他の循環器系疾患	6 243	5 829	4.9	4.6	0.6
10000	呼吸器系の疾患	165 934	149 293	131.5	118.3	15.3
10100	インフルエンザ	1 819	694	1.4	0.6	0.2
10200	肺 炎	107 210	95 534	84.9	75.7	9.9
10300	急性気管支炎	961	937	0.8	0.7	0.1
10400	慢性閉塞性肺疾患	14 415	13 444	11.4	10.7	1.3
10500	喘 息	3 196	3 283	2.5	2.6	0.3
10600	その他の呼吸器系の疾患	38 333	35 401	30.4	28.1	3.5
11000	消化器系の疾患	41 700	40 241	33.0	31.9	3.8
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 470	3 409	2.7	2.7	0.3
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 247	5 087	4.2	4.0	0.5
11300	肝 疾 患	16 409	15 885	13.0	12.6	1.5
11301	肝 硬 変（アルコール性を除く）	9 377	9 150	7.4	7.3	0.9
11302	その他の肝疾患	7 032	6 735	5.6	5.3	0.6
11400	その他の消化器系の疾患	16 574	15 860	13.1	12.6	1.5
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	964	828	0.8	0.7	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	4 580	4 463	3.6	3.5	0.4
14000	尿路性器系の疾患	26 928	24 690	21.3	19.6	2.5
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 027	2 785	2.4	2.2	0.3
14200	腎 不 全	20 510	19 117	16.3	15.2	1.9
14201	急性腎不全	4 007	3 828	3.2	3.0	0.4
14202	慢性腎不全	11 531	10 633	9.1	8.4	1.1
14203	詳細不明の腎不全	4 972	4 656	3.9	3.7	0.5
14300	その他の尿路性器系の疾患	3 391	2 788	2.7	2.2	0.3

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合 (%)
		平成17年	平成16年	平成17年	平成16年	平成17年
15000	妊娠, 分娩及び産じょく ¹⁾	66	56	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	832	878	0.7	0.7	0.1
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	67	64	0.1	0.1	0.0
16200	出産外傷	6	6	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	424	432	0.3	0.3	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	63	83	0.0	0.1	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	156	175	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	116	118	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 314	2 469	1.8	2.0	0.2
17100	神経系の先天奇形	118	123	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	1 211	1 326	1.0	1.1	0.1
17201	心臓の先天奇形	930	1 010	0.7	0.8	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	281	316	0.2	0.3	0.0
17300	消化器系の先天奇形	97	90	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	658	660	0.5	0.5	0.1
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	230	270	0.2	0.2	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	35 514	31 155	28.1	24.7	3.3
18100	老 衰	26 336	24 126	20.9	19.1	2.4
18200	乳幼児突然死症候群	198	232	0.2	0.2	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	8 980	6 797	7.1	5.4	0.8
20000	傷病及び死亡の外因	75 225	73 425	59.6	58.2	6.9
20100	不慮の事故	39 787	38 193	31.5	30.3	3.7
20101	交通事故	9 970	10 551	7.9	8.4	0.9
20102	転倒・転落	6 443	6 412	5.1	5.1	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	6 224	5 584	4.9	4.4	0.6
20104	不慮の窒息	9 221	8 645	7.3	6.9	0.9
20105	煙, 火及び火災への曝露	1 621	1 396	1.3	1.1	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	872	759	0.7	0.6	0.1
20107	その他の不慮の事故	5 436	4 846	4.3	3.8	0.5
20200	自 殺	30 539	30 247	24.2	24.0	2.8
20300	他 殺	600	655	0.5	0.5	0.1
20400	その他の外因	4 299	4 330	3.4	3.4	0.4

第6表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

総数 (3-1)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
3) 総 数	悪性新生物	325 885	258.2	心 疾 患	173 026	137.1	脳血管疾患	132 799	105.2
2) 0 歳	先天奇形等	1 024	96.4	呼吸障害等	413	38.9	乳幼児突然死 症 候 群	176	16.6
1～4	不慮の事故	236	5.2	先天奇形等	183	4.1	悪性新生物	100	2.2
5～9	不慮の事故	230	3.9	悪性新生物	120	2.1	先天奇形等	44	0.8
10～14	不慮の事故	150	2.5	悪性新生物	108	1.8	心 疾 患 自 殺	44	0.7
15～19	不慮の事故	615	9.5	自 殺	510	7.9	悪性新生物	166	2.6
20～24	自 殺	1 368	18.6	不慮の事故	860	11.7	悪性新生物	283	3.9
25～29	自 殺	1 788	21.6	不慮の事故	776	9.4	悪性新生物	423	5.1
30～34	自 殺	2 215	23.0	悪性新生物	982	10.2	不慮の事故	820	8.5
35～39	自 殺	2 097	24.4	悪性新生物	1 669	19.4	不慮の事故	842	9.8
40～44	悪性新生物	2 858	35.9	自 殺	2 306	28.9	心 疾 患	1 229	15.4
45～49	悪性新生物	5 376	70.2	自 殺	2 570	33.6	心 疾 患	1 900	24.8
50～54	悪性新生物	11 760	134.8	心 疾 患	3 519	40.3	自 殺	3 208	36.8
55～59	悪性新生物	22 304	219.3	心 疾 患	6 138	60.3	脳血管疾患	4 436	43.6
60～64	悪性新生物	29 317	347.5	心 疾 患	7 937	94.1	脳血管疾患	5 458	64.7
65～69	悪性新生物	37 361	506.1	心 疾 患	10 731	145.4	脳血管疾患	7 564	102.5
70～74	悪性新生物	51 676	783.4	心 疾 患	16 594	251.6	脳血管疾患	12 617	191.3
75～79	悪性新生物	57 241	1 095.5	心 疾 患	23 992	459.2	脳血管疾患	19 249	368.4
80～84	悪性新生物	48 123	1 418.7	心 疾 患	29 558	871.4	脳血管疾患	24 452	720.9
85～89	悪性新生物	33 409	1 823.6	心 疾 患	31 158	1 700.8	脳血管疾患	25 156	1 373.1
90歳以上	心 疾 患	37 997	3 511.7	肺 炎	33 210	3 069.3	脳血管疾患	27 937	2 582.0

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形、変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成17年

第4位				第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率		
肺 炎	107 210	84.9	不慮の事故	39 787	31.5	総 数	
不慮の事故	174	16.4	出血性障害等	155	14.6	0 歳	
肺 炎	69	1.5	心 疾 患	57	1.3	1～4	
心 疾 患	33	0.6	その他の新生物	32	0.5	5～9	
			肺 炎	26	0.4	10～14	
心 疾 患	107	1.6	先天奇形等	38	0.6	15～19	
心 疾 患	196	2.7	脳血管疾患	52	0.7	20～24	
心 疾 患	306	3.7	脳血管疾患	110	1.3	25～29	
心 疾 患	530	5.5	脳血管疾患	216	2.2	30～34	
心 疾 患	816	9.5	脳血管疾患	508	5.9	35～39	
不慮の事故	859	10.8	脳血管疾患	844	10.6	40～44	
脳血管疾患	1 462	19.1	不慮の事故	1 055	13.8	45～49	
脳血管疾患	2 645	30.3	不慮の事故	1 611	18.5	50～54	
自 殺	3 914	38.5	不慮の事故	2 352	23.1	55～59	
自 殺	2 906	34.4	不慮の事故	2 551	30.2	60～64	
肺 炎	3 332	45.1	不慮の事故	2 876	39.0	65～69	
肺 炎	7 254	110.0	不慮の事故	4 142	62.8	70～74	
肺 炎	13 921	266.4	不慮の事故	5 341	102.2	75～79	
肺 炎	20 444	602.7	不慮の事故	5 424	159.9	80～84	
肺 炎	24 621	1 343.9	老 衰	5 364	292.8	85～89	
悪性新生物	22 573	2 086.2	老 衰	17 673	1 633.4	90歳以上	

第6表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

男 (3-2)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
3) 総 数	悪性新生物	196 577	319.0	心 疾 患	83 911	136.2	脳血管疾患	63 637	103.3
2) 0 歳	先天奇形等	539	98.9	呼吸障害等	226	41.5	乳幼児突然死 症候群	109	20.0
1～4	不慮の事故	140	6.0	先天奇形等	100	4.3	悪性新生物	55	2.4
5～9	不慮の事故	165	5.5	悪性新生物	77	2.6	心 疾 患 先天奇形等	19	0.6
10～14	不慮の事故	106	3.5	悪性新生物	61	2.0	自 殺	28	0.9
15～19	不慮の事故	473	14.2	自 殺	321	9.6	悪性新生物	103	3.1
20～24	自 殺	920	24.4	不慮の事故	678	18.0	悪性新生物	163	4.3
25～29	自 殺	1 279	30.2	不慮の事故	608	14.3	心 疾 患	234	5.5
30～34	自 殺	1 583	32.5	不慮の事故	664	13.6	心 疾 患	413	8.5
35～39	自 殺	1 586	36.5	悪性新生物	689	15.8	不慮の事故	684	15.7
40～44	自 殺	1 804	44.9	悪性新生物	1 233	30.7	心 疾 患	986	24.6
45～49	悪性新生物	2 730	71.1	自 殺	2 094	54.5	心 疾 患	1 492	38.8
50～54	悪性新生物	6 559	150.7	心 疾 患	2 767	63.6	自 殺	2 584	59.4
55～59	悪性新生物	13 780	274.0	心 疾 患	4 846	96.3	自 殺	3 102	61.7
60～64	悪性新生物	19 671	481.3	心 疾 患	6 008	147.0	脳血管疾患	3 692	90.3
65～69	悪性新生物	25 533	727.9	心 疾 患	7 513	214.2	脳血管疾患	5 008	142.8
70～74	悪性新生物	35 285	1 169.9	心 疾 患	10 680	354.1	脳血管疾患	8 035	266.4
75～79	悪性新生物	37 744	1 685.0	心 疾 患	13 699	611.6	脳血管疾患	11 297	504.3
80～84	悪性新生物	27 244	2 242.3	心 疾 患	13 162	1 083.3	肺 炎	12 040	990.9
85～89	悪性新生物	16 278	2 933.0	肺 炎	12 203	2 198.7	心 疾 患	11 229	2 023.2
90歳以上	肺 炎	12 435	4 764.4	心 疾 患	9 859	3 777.4	悪性新生物	8 734	3 346.4

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成17年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	57 289	93.0	不慮の事故	24 571	39.9	総 数
不慮の事故	102	18.7	出血性障害等	90	16.5	0 歳
肺 炎	36	1.6	心 疾 患	31	1.3	1～4
			その他新生物	17	0.6	5～9
心 疾 患	24	0.8	肺 炎	15	0.5	10～14
心 疾 患	79	2.4	その他新生物	21	0.6	15～19
心 疾 患	144	3.8	脳血管疾患	32	0.8	20～24
悪性新生物	216	5.1	脳血管疾患	76	1.8	25～29
悪性新生物	401	8.2	脳血管疾患	142	2.9	30～34
心 疾 患	605	13.9	脳血管疾患	363	8.3	35～39
不慮の事故	683	17.0	脳血管疾患	579	14.4	40～44
脳血管疾患	997	26.0	不慮の事故	812	21.1	45～49
脳血管疾患	1 805	41.5	不慮の事故	1 245	28.6	50～54
脳血管疾患	3 052	60.7	不慮の事故	1 782	35.4	55～59
自 殺	2 157	52.8	不慮の事故	1 889	46.2	60～64
肺 炎	2 463	70.2	不慮の事故	1 993	56.8	65～69
肺 炎	5 226	173.3	不慮の事故	2 721	90.2	70～74
肺 炎	9 657	431.1	不慮の事故	3 344	149.3	75～79
脳血管疾患	11 493	945.9	慢性閉塞性肺疾患	2 825	232.5	80～84
脳血管疾患	9 522	1 715.7	慢性閉塞性肺疾患	2 209	398.0	85～89
脳血管疾患	7 481	2 866.3	老 衰	3 769	1 444.1	90歳以上

第6表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

女 (3-3)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
3) 総 数	悪性新生物	129 308	200.2	心 疾 患	89 115	138.0	脳血管疾患	69 162	107.1
2) 0 歳	先天奇形等	485	93.7	呼吸障害等	187	36.1	不慮の事故	72	13.9
1～4	不慮の事故	96	4.4	先天奇形等	83	3.8	悪性新生物	45	2.0
5～9	不慮の事故	65	2.3	悪性新生物	43	1.5	先天奇形等	25	0.9
10～14	悪性新生物	47	1.6	不慮の事故	44	1.5	心 疾 患	20	0.7
15～19	自 殺	189	6.0	不慮の事故	142	4.5	悪性新生物	63	2.0
20～24	自 殺	448	12.6	不慮の事故	182	5.1	悪性新生物	120	3.4
25～29	自 殺	509	12.6	悪性新生物	207	5.1	不慮の事故	168	4.2
30～34	自 殺	632	13.3	悪性新生物	581	12.3	不慮の事故	156	3.3
35～39	悪性新生物	980	23.0	自 殺	511	12.0	心 疾 患	211	5.0
40～44	悪性新生物	1 625	41.1	自 殺	502	12.7	脳血管疾患	265	6.7
45～49	悪性新生物	2 646	69.4	自 殺	476	12.5	脳血管疾患	465	12.2
50～54	悪性新生物	5 201	118.9	脳血管疾患	840	19.2	心 疾 患	752	17.2
55～59	悪性新生物	8 524	165.8	脳血管疾患	1 384	26.9	心 疾 患	1 292	25.1
60～64	悪性新生物	9 646	221.7	心 疾 患	1 929	44.3	脳血管疾患	1 766	40.6
65～69	悪性新生物	11 828	305.3	心 疾 患	3 218	83.1	脳血管疾患	2 556	66.0
70～74	悪性新生物	16 391	457.8	心 疾 患	5 914	165.2	脳血管疾患	4 582	128.0
75～79	悪性新生物	19 497	653.2	心 疾 患	10 293	344.8	脳血管疾患	7 952	266.4
80～84	悪性新生物	20 879	959.5	心 疾 患	16 396	753.5	脳血管疾患	12 959	595.5
85～89	心 疾 患	19 929	1 560.6	悪性新生物	17 131	1 341.5	脳血管疾患	15 634	1 224.3
90歳以上	心 疾 患	28 138	3 427.3	肺 炎	20 775	2 530.5	脳血管疾患	20 456	2 491.6

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成17年

第4位				第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率		
肺 炎	49 921	77.3	老 衰	19 660	30.4	総 数	
		0.0			0.0		
乳幼児突然死 症 候 群	67	12.9	出 血 性 障 害 等	65	12.6	0 歳	
肺 炎	33	1.5	心 疾 患	26	1.2	1～4	
その他新生物	15	0.5	心 疾 患	14	0.5	5～9	
自 殺	16	0.5	そ の 他 新 生 物 肺 炎	11	0.4	10～14	
心 疾 患	28	0.9	先 天 奇 形 等	19	0.6	15～19	
		0.0			0.0		
心 疾 患	52	1.5	脳 血 管 疾 患	20	0.6	20～24	
心 疾 患	72	1.8	脳 血 管 疾 患	34	0.8	25～29	
心 疾 患	117	2.5	脳 血 管 疾 患	74	1.6	30～34	
不慮の事故	158	3.7	脳 血 管 疾 患	145	3.4	35～39	
		0.0			0.0		
心 疾 患	243	6.1	不 慮 の 事 故	176	4.5	40～44	
心 疾 患	408	10.7	不 慮 の 事 故	243	6.4	45～49	
自 殺	624	14.3	不 慮 の 事 故	366	8.4	50～54	
自 殺	812	15.8	不 慮 の 事 故	570	11.1	55～59	
		0.0			0.0		
自 殺	749	17.2	不 慮 の 事 故	662	15.2	60～64	
不慮の事故	883	22.8	肺 炎	869	22.4	65～69	
肺 炎	2 028	56.6	不 慮 の 事 故	1 421	39.7	70～74	
肺 炎	4 264	142.8	不 慮 の 事 故	1 997	66.9	75～79	
		0.0			0.0		
肺 炎	8 404	386.2	不 慮 の 事 故	2 625	120.6	80～84	
肺 炎	12 418	972.4	老 衰	3 803	297.8	85～89	
老 衰	13 904	1 693.5	悪 性 新 生 物	13 839	1 685.6	90歳以上	

第7表 人口動態総覧，都道府県（15大都市再掲）別

都道府県 ¹⁾	出生数			死亡数			(再掲)			
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			新生児死亡数
							総数	男	女	
全国	1 062 604	545 064	517 540	1 084 012	585 118	498 894	2 960	1 642	1 318	1 509
北海道	41 423	21 106	20 317	49 981	27 800	22 181	115	64	51	65
青森	10 524	5 380	5 144	14 884	8 213	6 671	29	14	15	20
岩手	10 545	5 379	5 166	14 639	7 929	6 710	34	18	16	17
宮城	19 332	9 943	9 389	19 772	10 750	9 022	54	32	22	24
秋田	7 697	3 845	3 852	13 065	6 961	6 104	17	6	11	8
山形	9 357	4 766	4 591	13 255	6 934	6 321	18	12	6	10
福島	17 538	9 007	8 531	20 982	11 417	9 565	42	27	15	20
茨城	24 244	12 429	11 815	25 840	14 073	11 767	68	37	31	33
栃木	17 363	8 952	8 411	18 091	9 724	8 367	58	37	21	31
群馬	17 134	8 812	8 322	18 549	9 852	8 697	55	28	27	29
埼玉	59 735	30 631	29 104	48 100	26 945	21 155	137	78	59	61
千葉	50 589	25 889	24 700	44 027	24 430	19 597	147	75	72	76
東京都	96 553	49 609	46 944	93 619	51 277	42 342	257	148	109	129
神奈川	76 199	39 067	37 132	58 806	33 202	25 604	238	131	107	126
新潟	18 507	9 491	9 016	24 397	13 006	11 391	50	22	28	23
富山	8 973	4 694	4 279	10 863	5 741	5 122	29	16	13	14
石川	10 049	5 162	4 887	10 376	5 484	4 892	30	17	13	14
福井	7 149	3 705	3 444	7 773	4 022	3 751	20	12	8	9
山梨	7 149	3 687	3 462	8 291	4 439	3 852	18	11	7	7
長野	18 519	9 527	8 992	21 370	11 268	10 102	42	20	22	20
岐阜	17 707	8 988	8 719	18 517	9 954	8 563	54	32	22	34
静岡県	31 925	16 474	15 451	31 748	17 325	14 423	99	57	42	56
愛知	67 109	34 323	32 786	52 542	28 576	23 966	203	121	82	98
三重	15 343	7 759	7 584	17 155	9 000	8 155	33	14	19	18
滋賀	12 901	6 656	6 245	10 419	5 463	4 956	45	23	22	27
京都	21 558	11 122	10 436	22 133	11 435	10 698	54	32	22	36
大阪	76 112	39 127	36 985	68 657	37 669	30 988	199	97	102	106
兵庫県	47 281	24 279	23 002	46 661	25 006	21 655	132	69	63	64
奈良	11 184	5 797	5 387	11 893	6 293	5 600	38	26	12	16
和歌山	7 837	4 052	3 785	11 252	5 810	5 442	26	14	12	7
鳥取	5 012	2 509	2 503	6 303	3 359	2 944	15	9	6	8
島根	5 697	2 869	2 828	8 556	4 538	4 018	18	13	5	7
岡山	16 688	8 755	7 933	18 441	9 718	8 723	54	26	28	20
広島	24 740	12 775	11 965	25 582	13 705	11 877	64	37	27	35
山口	11 514	5 874	5 640	16 523	8 681	7 842	33	16	17	15
徳島	5 914	3 011	2 903	8 612	4 426	4 186	18	11	7	11
香川	8 686	4 396	4 290	10 265	5 406	4 859	24	17	7	13
愛媛	11 528	5 923	5 605	15 469	8 055	7 414	32	18	14	19
高知	5 916	2 973	2 943	9 119	4 802	4 317	15	9	6	7
福岡	43 422	22 144	21 278	42 688	22 554	20 134	109	58	51	58
佐賀	7 508	3 783	3 725	8 547	4 430	4 117	13	7	6	5
長崎	12 149	6 258	5 891	14 872	7 782	7 090	33	23	10	14
熊本	15 645	8 026	7 619	17 912	9 237	8 675	43	25	18	23
大分	9 783	5 029	4 754	12 168	6 299	5 869	23	17	6	14
宮崎	9 739	4 985	4 754	11 180	5 789	5 391	32	15	17	14
鹿児島	14 838	7 687	7 151	19 002	9 739	9 263	46	27	19	17
沖縄	16 119	8 316	7 803	9 025	4 781	4 244	40	22	18	26
外国	170	93	77	193	131	62	4	1	3	2
不詳	.	.	.	1 898	1 688	210	3	1	2	3
(再掲)										
東京都	64 180	32 986	31 194	65 169	35 877	29 292	176	103	73	89
札幌市	14 184	7 208	6 976	13 105	7 313	5 792	38	21	17	25
仙台市	9 061	4 717	4 344	6 307	3 493	2 814	22	12	10	10
さいたま市	10 376	5 348	5 028	7 186	3 989	3 197	27	15	12	13
千葉市	8 071	4 142	3 929	5 851	3 335	2 516	20	8	12	10
横浜市	31 142	16 045	15 097	23 335	13 122	10 213	97	53	44	47
川崎市	12 847	6 619	6 228	8 036	4 769	3 267	35	17	18	19
静岡市 ²⁾	4 161	2 214	1 947	4 190	2 254	1 936	10	7	3	5
名古屋市	19 047	9 719	9 328	17 396	9 554	7 842	53	31	22	24
京都市	11 610	5 915	5 695	12 335	6 296	6 039	31	16	15	18
大阪市	21 914	11 183	10 731	23 562	13 196	10 366	57	30	27	34
神戸市	12 280	6 324	5 956	12 268	6 704	5 564	29	15	14	15
広島市	10 919	5 649	5 270	8 152	4 412	3 740	20	10	10	10
北九州市	8 196	4 197	3 999	9 205	4 933	4 272	25	14	11	9
福岡市	12 477	6 378	6 099	8 758	4 637	4 121	25	14	11	13

注：1)都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

2)静岡市は平成17年4月1日から指定都市となったため、4月分からの累計である。

自 然 増 加 数	死 産 数			周 産 期 死 亡 数			婚 姻 件 数	離 婚 件 数	都 道 府 県 ¹⁾
	総 数	自然死産	人工死産	総 数	妊娠満22週 以後の死産	早 新 期 死 産 児 亡			
△ 21 408	31 830	13 496	18 334	5 147	4 057	1 090	714 261	261 929	全 国
△ 8 558	1 663	601	1 062	212	166	46	29 708	13 597	北 海 道
△ 4 360	367	154	213	56	38	18	6 584	3 281	青 森 県
△ 4 094	361	151	210	68	54	14	6 446	2 507	岩 手 県
△ 440	640	236	404	92	75	17	12 820	4 820	宮 城 県
△ 5 368	247	99	148	36	31	5	4 884	1 856	秋 田 県
△ 3 898	274	109	165	42	37	5	5 729	2 048	山 形 県
△ 3 444	567	240	327	69	54	15	10 606	4 366	福 島 県
△ 1 596	715	306	409	113	90	23	15 534	5 833	茨 城 県
△ 728	485	196	289	76	47	29	11 471	4 045	栃 木 県
△ 1 415	491	201	290	86	66	20	10 601	3 949	群 馬 県
11 635	1 638	779	859	283	244	39	40 486	14 521	埼 玉 県
6 562	1 486	772	714	253	199	54	35 506	12 582	千 葉 県
2 934	2 841	1 293	1 548	463	372	91	85 381	26 985	東 京 都
17 393	2 063	1 023	1 040	396	311	85	56 050	18 516	神 奈 川 県
△ 5 890	529	252	277	94	79	15	11 484	3 601	新 潟 県
△ 1 890	233	125	108	36	28	8	5 355	1 735	富 山 県
△ 327	259	137	122	52	40	12	6 052	1 907	石 川 県
△ 624	191	89	102	29	25	4	4 365	1 395	福 井 県
△ 1 142	195	95	100	32	27	5	4 531	1 743	山 梨 県
△ 2 851	479	219	260	91	76	15	11 644	3 953	長 野 県
△ 810	468	242	226	104	84	20	10 512	3 565	岐 阜 県
177	816	364	452	160	122	38	21 056	7 474	静 岡 県
14 567	1 752	779	973	335	261	74	43 948	13 998	愛 知 県
△ 1 812	417	178	239	75	64	11	9 640	3 700	三 重 県
2 482	308	169	139	73	52	21	7 732	2 472	滋 賀 県
△ 575	600	227	373	108	83	25	14 030	5 116	京 都 府
7 455	2 220	844	1 376	341	263	78	51 739	20 973	阪 神 間
620	1 296	579	717	228	176	52	30 236	11 369	大 阪 府
△ 709	331	166	165	60	46	14	6 915	2 605	兵 庫 県
△ 3 415	239	87	152	35	30	5	4 956	2 181	和 歌 山 県
△ 1 291	172	67	105	34	27	7	3 008	1 192	鳥 取 県
△ 2 859	170	62	108	31	24	7	3 345	1 124	島 根 県
△ 1 753	499	172	327	70	58	12	10 098	3 722	岡 山 県
△ 842	613	245	368	104	76	28	15 728	5 609	広 島 県
△ 5 009	328	146	182	43	32	11	7 306	2 846	山 口 県
△ 2 698	171	68	103	34	27	7	3 637	1 576	徳 島 県
△ 1 579	232	93	139	43	33	10	5 254	2 029	香 川 県
△ 3 941	393	167	226	72	55	17	7 246	3 037	愛 媛 県
△ 3 203	225	71	154	32	26	6	3 705	1 787	高 知 県
734	1 605	556	1 049	208	160	48	28 715	11 570	福 岡 県
△ 1 039	249	92	157	27	22	5	4 155	1 759	佐 賀 県
△ 2 723	502	187	315	57	46	11	7 017	2 976	長 崎 県
△ 2 267	556	170	386	68	51	17	9 361	3 718	熊 本 県
△ 2 385	308	96	212	37	27	10	6 101	2 382	大 分 県
△ 1 441	421	122	299	36	26	10	6 022	2 658	宮 崎 県
△ 4 164	613	206	407	60	49	11	8 754	3 584	鹿 児 島 県
7 094	583	257	326	89	77	12	8 808	3 667	沖 縄 県
△ 23	9	4	5	1	1	-	.	.	外 国
.	10	3	7	3	-	3	.	.	不 詳
△ 989	1 916	872	1 044	298	236	62	61 897	19 018	(再掲) 東京都
1 079	602	189	413	63	47	16	11 191	4 791	東 京 都
2 754	282	112	170	38	31	7	6 610	2 129	札幌市
3 190	274	120	154	37	33	4	7 209	2 168	仙台市
2 220	201	125	76	34	29	5	5 440	1 908	さいたま市
7 807	826	429	397	164	128	36	22 767	7 409	千葉市
4 811	323	156	167	64	54	10	10 685	2 935	横 濱 市
△ 29	121	60	61	24	20	4	2 865	1 013	川 崎 市
1 651	536	202	334	87	68	19	14 164	4 786	静 岡 市
△ 725	331	122	209	54	41	13	8 223	3 050	名古屋
△ 1 648	737	275	462	101	74	27	17 571	7 144	京 都 府
12	352	143	209	48	36	12	8 358	3 234	大 阪 府
2 767	262	120	142	34	27	7	7 159	2 563	神 戸 市
△ 1 009	329	113	216	41	34	7	5 434	2 438	広 島 市
3 719	449	176	273	58	48	10	9 468	3 274	北 九 州 市

第8表 人口動態総覧（率），都道府県（15大都市再掲）別

都道府県	出生	死亡	乳児死亡	新生児死亡	自然増加
	(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)
全国	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2
北海道	7.4	8.9	2.8	1.6	△ 1.5
青森県	7.3	10.4	2.8	1.9	△ 3.0
岩手県	7.6	10.6	3.2	1.6	△ 3.0
宮城県	8.2	8.4	2.8	1.2	△ 0.2
秋田県	6.7	11.4	2.2	1.0	△ 4.7
山形県	7.7	10.9	1.9	1.1	△ 3.2
福島県	8.4	10.1	2.4	1.1	△ 1.7
茨城県	8.2	8.8	2.8	1.4	△ 0.5
栃木県	8.7	9.1	3.3	1.8	△ 0.4
群馬県	8.6	9.3	3.2	1.7	△ 0.7
埼玉県	8.6	6.9	2.3	1.0	1.7
千葉県	8.5	7.4	2.9	1.5	1.1
東京都	7.9	7.7	2.7	1.3	0.2
神奈川県	8.8	6.8	3.1	1.7	2.0
新潟県	7.6	10.0	2.7	1.2	△ 2.4
富山県	8.1	9.8	3.2	1.6	△ 1.7
石川県	8.6	8.9	3.0	1.4	△ 0.3
福井県	8.8	9.6	2.8	1.3	△ 0.8
山梨県	8.2	9.5	2.5	1.0	△ 1.3
長野県	8.5	9.8	2.3	1.1	△ 1.3
岐阜県	8.5	8.9	3.0	1.9	△ 0.4
静岡県	8.6	8.5	3.1	1.8	0.0
愛知県	9.5	7.4	3.0	1.5	2.1
三重県	8.4	9.4	2.2	1.2	△ 1.0
滋賀県	9.5	7.7	3.5	2.1	1.8
京都府	8.3	8.5	2.5	1.7	△ 0.2
大阪府	8.8	7.9	2.6	1.4	0.9
兵庫県	8.6	8.5	2.8	1.4	0.1
奈良県	7.9	8.4	3.4	1.4	△ 0.5
和歌山県	7.6	10.9	3.3	0.9	△ 3.3
鳥取県	8.3	10.5	3.0	1.6	△ 2.1
島根県	7.7	11.6	3.2	1.2	△ 3.9
岡山県	8.6	9.5	3.2	1.2	△ 0.9
広島県	8.7	9.0	2.6	1.4	△ 0.3
山口県	7.8	11.1	2.9	1.3	△ 3.4
徳島県	7.3	10.7	3.0	1.9	△ 3.3
香川県	8.6	10.2	2.8	1.5	△ 1.6
愛媛県	7.9	10.6	2.8	1.6	△ 2.7
高知県	7.4	11.5	2.5	1.2	△ 4.0
福岡県	8.6	8.5	2.5	1.3	0.1
佐賀県	8.7	9.9	1.7	0.7	△ 1.2
長崎県	8.2	10.1	2.7	1.2	△ 1.8
熊本県	8.5	9.7	2.7	1.5	△ 1.2
大宮市	8.1	10.1	2.4	1.4	△ 2.0
分崎市	8.4	9.7	3.3	1.4	△ 1.2
鹿儿岛県	8.5	10.8	3.1	1.1	△ 2.4
沖縄県	11.8	6.6	2.5	1.6	5.2
(再掲)					
東京都	7.6	7.7	2.7	1.4	△ 0.1
札幌市	7.5	7.0	2.7	1.8	0.6
仙台市	8.8	6.2	2.4	1.1	2.7
さいたま市	8.8	6.1	2.6	1.3	2.7
千葉市	8.7	6.3	2.5	1.2	2.4
横浜市	8.7	6.5	3.1	1.5	2.2
川崎市	9.7	6.1	2.7	1.5	3.6
静岡市 ³⁾
名古屋市	8.6	7.9	2.8	1.3	0.7
京都市	7.9	8.4	2.7	1.6	△ 0.5
大阪市	8.3	9.0	2.6	1.6	△ 0.6
神戸市	8.1	8.0	2.4	1.2	0.0
広島市	9.5	7.1	1.8	0.9	2.4
北九州市	8.2	9.3	3.1	1.1	△ 1.0
福岡市	8.9	6.3	2.0	1.0	2.7

注：1) 死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。
 2) 周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。
 3) 静岡市は、平成17年4月1日から指定都市になったため率は算出してない。

死産 ¹⁾ (出産千対)			周産期死亡 ²⁾ (出産千対)	婚姻 (人口千対)	離婚	都道府県
総数	自然死産	人工死産				
29.1	12.3	16.8	4.8	5.7	2.08	全 国
38.6	13.9	24.6	5.1	5.3	2.42	北 海 道
33.7	14.1	19.6	5.3	4.6	2.28	青 森 県
33.1	13.8	19.3	6.4	4.7	1.82	岩 手 県
32.0	11.8	20.2	4.7	5.4	2.05	宮 城 県
31.1	12.5	18.6	4.7	4.3	1.62	秋 田 県
28.4	11.3	17.1	4.5	4.7	1.69	山 形 県
31.3	13.3	18.1	3.9	5.1	2.09	福 島 県
28.6	12.3	16.4	4.6	5.3	1.98	茨 城 県
27.2	11.0	16.2	4.4	5.8	2.03	栃 木 県
27.9	11.4	16.5	5.0	5.3	1.98	群 馬 県
26.7	12.7	14.0	4.7	5.8	2.08	埼 千 県
28.5	14.8	13.7	5.0	5.9	2.10	東 京 都
28.6	13.0	15.6	4.8	7.0	2.21	神 奈 川 県
26.4	13.1	13.3	5.2	6.5	2.14	新 潟 県
27.8	13.2	14.6	5.1	4.7	1.48	富 山 県
25.3	13.6	11.7	4.0	4.8	1.57	石 川 県
25.1	13.3	11.8	5.2	5.2	1.63	福 井 県
26.0	12.1	13.9	4.0	5.4	1.72	山 梨 県
26.6	12.9	13.6	4.5	5.2	2.00	山 梨 県
25.2	11.5	13.7	4.9	5.4	1.82	山 梨 県
25.7	13.3	12.4	5.8	5.1	1.72	岐 阜 県
24.9	11.1	13.8	5.0	5.6	2.01	静 岡 県
25.4	11.3	14.1	5.0	6.2	1.97	愛 知 県
26.5	11.3	15.2	4.9	5.3	2.02	三 重 県
23.3	12.8	10.5	5.6	5.7	1.82	滋 賀 県
27.1	10.2	16.8	5.0	5.4	1.97	京 都 府
28.3	10.8	17.6	4.5	6.0	2.42	大 阪 府
26.7	11.9	14.8	4.8	5.5	2.06	兵 庫 県
28.7	14.4	14.3	5.3	4.9	1.84	和 歌 山 県
29.6	10.8	18.8	4.4	4.8	2.11	和 歌 山 県
33.2	12.9	20.3	6.7	5.0	1.98	鳥 取 県
29.0	10.6	18.4	5.4	4.5	1.52	島 根 県
29.0	10.0	19.0	4.2	5.2	1.92	岡 山 県
24.2	9.7	14.5	4.2	5.5	1.97	山 口 県
27.7	12.3	15.4	3.7	4.9	1.92	山 口 県
28.1	11.2	16.9	5.7	4.5	1.96	徳 島 県
26.0	10.4	15.6	4.9	5.2	2.01	香 川 県
33.0	14.0	19.0	6.2	4.9	2.07	愛 媛 県
36.6	11.6	25.1	5.4	4.7	2.25	高 知 県
35.6	12.3	23.3	4.8	5.7	2.30	福 岡 県
32.1	11.9	20.2	3.6	4.8	2.04	佐 賀 県
39.7	14.8	24.9	4.7	4.7	2.01	長 崎 県
34.3	10.5	23.8	4.3	5.1	2.02	熊 本 県
30.5	9.5	21.0	3.8	5.1	1.98	大 宮 市
41.4	12.0	29.4	3.7	5.2	2.31	大 宮 市
39.7	13.3	26.3	4.0	5.0	2.05	鹿 児 島 県
34.9	15.4	19.5	5.5	6.5	2.69	沖 縄 県
29.0	13.2	15.8	4.6	7.3	2.24	(再掲) 東 京 都 区 部
40.7	12.8	27.9	4.4	5.9	2.55	札 幌 市 市
30.2	12.0	18.2	4.2	6.4	2.08	仙 台 市 市
25.7	11.3	14.5	3.6	6.1	1.84	さいたま市 市
24.3	15.1	9.2	4.2	5.9	2.06	千葉市 市
25.8	13.4	12.4	5.2	6.4	2.07	横浜市 市
24.5	11.8	12.7	5.0	8.1	2.21	横 濱 市 市
...	川 崎 市 市
27.4	10.3	17.1	4.6	6.4	2.16	静 岡 市 市 ³⁾
27.7	10.2	17.5	4.6	5.6	2.07	名 古 屋 市 市
32.5	12.1	20.4	4.6	6.7	2.72	京 都 府 市
27.9	11.3	16.5	3.9	5.5	2.12	大 阪 府 市
23.4	10.7	12.7	3.1	6.2	2.22	神 戸 市 市
38.6	13.3	25.3	5.0	5.5	2.45	広 島 市 市
34.7	13.6	21.1	4.6	6.8	2.34	北 九 州 市 市

第9表 主な死因の死亡数・死亡率（人口10万対），都道府県

都道府県	全死因		02100 悪性新生物		09200 心疾患		09300 脳血管疾患		10200 肺炎	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全	1 084 012	858.9	325 885	258.2	173 026	137.1	132 799	105.2	107 210	84.9
北海道	49 981	890.8	16 128	287.4	7 929	141.3	5 918	105.5	4 725	84.2
青森	14 884	1 036.5	4 383	305.2	2 477	172.5	2 026	141.1	1 446	100.7
岩手	14 639	1 060.0	4 089	296.1	2 479	179.5	2 229	161.4	1 447	104.8
宮城	19 772	839.6	5 893	250.2	3 105	131.8	2 692	114.3	1 857	78.9
秋田	13 065	1 142.0	3 858	337.2	1 976	172.7	1 842	161.0	1 366	119.4
山形	13 255	1 094.5	3 774	311.6	2 132	176.1	1 870	154.4	1 327	109.6
福島	20 982	1 005.4	5 797	277.8	3 643	174.6	2 959	141.8	2 005	96.1
茨城	25 840	877.1	7 549	256.2	4 230	143.6	3 610	122.5	2 499	84.8
栃木	18 091	910.0	4 982	250.6	3 044	153.1	2 630	132.3	1 914	96.3
群馬	18 549	929.3	5 199	260.5	3 071	153.9	2 500	125.3	2 047	102.6
埼玉	48 100	689.1	15 186	217.6	8 316	119.1	5 781	82.8	4 635	66.4
千葉	44 027	736.4	13 516	226.1	7 395	123.7	5 370	89.8	4 268	71.4
東京都	93 619	766.9	29 478	241.5	14 584	119.5	11 172	91.5	9 083	74.4
神奈川県	58 806	679.4	18 976	219.2	8 807	101.8	6 934	80.1	5 537	64.0
新潟	24 397	1 004.8	7 429	306.0	3 772	155.4	3 501	144.2	2 237	92.1
富山	10 863	983.1	3 187	288.4	1 505	136.2	1 471	133.1	1 196	108.2
石川	10 376	887.6	3 100	265.2	1 767	151.2	1 237	105.8	1 118	95.6
福井	7 773	957.3	2 239	275.7	1 213	149.4	962	118.5	901	111.0
山梨	8 291	953.0	2 364	271.7	1 487	170.9	1 027	118.0	772	88.7
長野	21 370	984.8	5 786	266.6	3 275	150.9	3 447	158.8	1 909	88.0
岐阜	18 517	894.1	5 286	255.2	3 292	159.0	2 268	109.5	1 685	81.4
静岡県	31 748	851.8	9 110	244.4	5 009	134.4	4 274	114.7	2 869	77.0
愛知県	52 542	740.4	15 870	223.6	8 760	123.4	6 195	87.3	4 860	68.5
三重	17 155	936.4	4 625	252.5	2 875	156.9	2 173	118.6	1 687	92.1
滋賀	10 419	768.4	3 145	231.9	1 609	118.7	1 193	88.0	1 019	75.1
京都府	22 133	852.9	6 708	258.5	3 709	142.9	2 588	99.7	2 239	86.3
大阪府	68 657	793.2	22 676	262.0	10 707	123.7	6 742	77.9	6 946	80.2
兵庫県	46 661	846.4	14 746	267.5	7 067	128.2	4 989	90.5	4 517	81.9
奈良	11 893	838.7	3 763	265.4	2 163	152.5	1 246	87.9	1 220	86.0
和歌山	11 252	1 086.1	3 264	315.1	1 996	192.7	1 184	114.3	1 078	104.1
鳥取	6 303	1 045.3	1 802	298.8	1 000	165.8	858	142.3	571	94.7
島根	8 556	1 156.2	2 467	333.4	1 374	185.7	1 005	135.8	833	112.6
岡山	18 441	952.0	4 960	256.1	2 888	149.1	2 420	124.9	2 044	105.5
広島	25 582	897.0	7 547	264.6	4 059	142.3	2 995	105.0	2 593	90.9
山口	16 523	1 112.7	4 798	323.1	2 601	175.2	2 165	145.8	1 849	124.5
徳島	8 612	1 068.5	2 301	285.5	1 383	171.6	1 022	126.8	897	111.3
香川	10 265	1 016.3	2 840	281.2	1 697	168.0	1 151	114.0	1 218	120.6
愛媛	15 469	1 055.9	4 231	288.8	2 899	197.9	1 865	127.3	1 617	110.4
高知	9 119	1 147.0	2 523	317.4	1 490	187.4	1 279	160.9	958	120.5
福岡	42 688	848.5	13 701	272.3	5 543	110.2	4 543	90.3	4 407	87.6
佐賀	8 547	989.2	2 709	313.5	1 252	144.9	1 000	115.7	882	102.1
長崎	14 872	1 006.2	4 630	313.3	2 405	162.7	1 716	116.1	1 616	109.3
熊本	17 912	974.0	5 023	273.1	2 817	153.2	2 139	116.3	1 876	102.0
大分	12 168	1 009.8	3 335	276.8	1 992	165.3	1 523	126.4	1 263	104.8
宮崎	11 180	969.6	3 111	269.8	1 804	156.5	1 455	126.2	1 105	95.8
鹿児島	19 002	1 084.6	5 053	288.4	2 913	166.3	2 660	151.8	2 039	116.4
沖縄	9 025	663.1	2 514	184.7	1 256	92.3	793	58.3	903	66.3
外国	193	・	27	・	19	・	15	・	12	・
(再掲)										
東京都	65 169	768.2	20 801	245.2	10 042	118.4	7 677	90.5	6 009	70.8
札幌市	13 105	696.8	4 484	238.4	1 931	102.7	1 596	84.9	1 053	56.0
仙台市	6 307	615.3	2 054	200.4	911	88.9	809	78.9	560	54.6
さいたま市	7 186	610.9	2 245	190.9	1 202	102.2	877	74.6	691	58.7
千葉市	5 851	633.0	1 937	209.6	910	98.4	647	70.0	553	59.8
横浜市	23 335	652.0	7 641	213.5	3 496	97.7	2 623	73.3	2 252	62.9
川崎市	8 036	605.6	2 673	201.4	1 222	92.1	969	73.0	678	51.1
静岡市 ²⁾	4 190	…	1 291	…	625	…	595	…	370	…
名古屋市	17 396	785.4	5 430	245.1	2 987	134.9	1 882	85.0	1 489	67.2
京都市	12 335	836.4	3 784	256.6	2 102	142.5	1 421	96.4	1 237	83.9
大阪市	23 562	896.3	7 686	292.4	3 331	126.7	2 360	89.8	2 402	91.4
神戸市	12 268	804.3	4 104	269.0	1 729	113.3	1 213	79.5	1 061	69.6
広島市	8 152	706.0	2 582	223.6	1 311	113.5	911	78.9	751	65.0
北九州市	9 205	926.5	2 961	298.0	1 329	133.8	1 018	102.5	893	89.9
福岡市	8 758	625.3	2 942	210.0	1 098	78.4	809	57.8	855	61.0

注：1) 全国値には、住所不詳を含む。

2) 静岡市は平成17年4月1日から指定都市となったため、4月分からの累計である。なお、死亡率は算出してない。

(15大都市再掲) 別

平成17年

20100 不慮の事故		20200 自殺		18100 老衰		14200 腎不全		11300 肝疾患		10400 慢性閉塞性肺疾		都道府県
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	
39 787	31.5	30 539	24.2	26 336	20.9	20 510	16.3	16 409	13.0	14 415	11.4	全 国
1 644	29.3	1 530	27.3	780	13.9	1 204	21.5	626	11.2	614	10.9	北海道
524	36.5	528	36.8	335	23.3	272	18.9	224	15.6	145	10.1	青森
541	39.2	470	34.0	378	27.4	298	21.6	166	12.0	152	11.0	岩手
791	33.6	630	26.8	552	23.4	390	16.6	243	10.3	241	10.2	宮城
528	46.2	447	39.1	297	26.0	235	20.5	128	11.2	120	10.5	秋田
509	42.0	376	31.0	453	37.4	259	21.4	154	12.7	197	16.3	山形
794	38.0	603	28.9	642	30.8	378	18.1	269	12.9	305	14.6	福島
1 091	37.0	693	23.5	726	24.6	424	14.4	350	11.9	347	11.8	茨城
685	34.5	496	24.9	531	26.7	306	15.4	265	13.3	210	10.6	栃木
650	32.6	504	25.3	426	21.3	294	14.7	269	13.5	260	13.0	群馬
1 570	22.5	1 559	22.3	971	13.9	798	11.4	733	10.5	578	8.3	埼玉
1 547	25.9	1 316	22.0	1 133	18.9	734	12.3	602	10.1	521	8.7	千葉
2 578	21.1	2 667	21.8	1 881	15.4	1 594	13.1	1 852	15.2	1 297	10.6	東京都
1 920	22.2	1 705	19.7	1 239	14.3	951	11.0	1 302	15.0	712	8.2	神奈川県
1 083	44.6	718	29.6	721	29.7	343	14.1	241	9.9	308	12.7	新潟
491	44.4	338	30.6	236	21.4	204	18.5	138	12.5	114	10.3	富山
395	33.8	265	22.7	222	19.0	173	14.8	143	12.2	148	12.7	石川
368	45.3	190	23.4	192	23.6	134	16.5	93	11.5	97	11.9	福井
260	29.9	233	26.8	255	29.3	122	14.0	136	15.6	110	12.6	山梨
876	40.4	548	25.3	921	42.4	320	14.7	241	11.1	308	14.2	長野
753	36.4	526	25.4	596	28.8	354	17.1	228	11.0	269	13.0	岐阜
1 253	33.6	814	21.8	1 127	30.2	636	17.1	384	10.3	450	12.1	静岡県
2 057	29.0	1 466	20.7	1 430	20.2	925	13.0	731	10.3	586	8.3	愛知県
750	40.9	365	19.9	735	40.1	346	18.9	225	12.3	269	14.7	三重
456	33.6	300	22.1	228	16.8	211	15.6	117	8.6	171	12.6	滋賀
654	25.2	547	21.1	495	19.1	468	18.0	256	9.9	339	13.1	京都
2 143	24.8	2 072	23.9	924	10.7	1 396	16.1	1 421	16.4	914	10.6	大阪府
1 896	34.4	1 281	23.2	1 142	20.7	952	17.3	783	14.2	598	10.8	兵庫県
388	27.4	291	20.5	240	16.9	200	14.1	164	11.6	185	13.0	奈良
432	41.7	267	25.8	404	39.0	240	23.2	150	14.5	148	14.3	和歌山
269	44.6	147	24.4	197	32.7	140	23.2	74	12.3	76	12.6	鳥取
310	41.9	205	27.7	313	42.3	173	23.4	103	13.9	124	16.8	島根
860	44.4	420	21.7	556	28.7	432	22.3	255	13.2	249	12.9	岡山
979	34.3	623	21.8	611	21.4	525	18.4	411	14.4	350	12.3	広島
501	33.7	386	26.0	477	32.1	298	20.1	228	15.4	202	13.6	山口
367	45.5	160	19.9	242	30.0	222	27.5	135	16.7	166	20.6	徳島
432	42.8	200	19.8	300	29.7	261	25.8	152	15.0	150	14.9	香川県
626	42.7	370	25.3	474	32.4	301	20.5	198	13.5	199	13.6	愛媛
385	48.4	236	29.7	167	21.0	217	27.3	129	16.2	113	14.2	高知
1 782	35.4	1 235	24.5	726	14.4	789	15.7	651	12.9	561	11.2	福岡
349	40.4	216	25.0	221	25.6	126	14.6	126	14.6	122	14.1	佐賀
509	34.4	432	29.2	237	16.0	291	19.7	181	12.2	187	12.7	長崎
683	37.1	447	24.3	501	27.2	437	23.8	248	13.5	283	15.4	熊本
460	38.2	292	24.2	315	26.1	244	20.2	164	13.6	177	14.7	大分
438	38.0	353	30.6	249	21.6	236	20.5	159	13.8	165	14.3	宮崎
733	41.8	458	26.1	357	20.4	467	26.7	267	15.2	324	18.5	鹿児島
284	20.9	327	24.0	176	12.9	173	12.7	240	17.6	243	17.9	沖縄
11	・	12	・	1	・	-	・	3	・	1	・	外国
1 863	22.0	1 838	21.7	1 233	14.5	1 113	13.1	1 408	16.6	926	10.9	(再掲) 東京都
351	18.7	470	25.0	121	6.4	291	15.5	169	9.0	138	7.3	中央区
239	23.3	246	24.0	148	14.4	98	9.6	83	8.1	69	6.7	札幌市
203	17.3	238	20.2	150	12.8	130	11.1	116	9.9	71	6.0	仙台市
194	21.0	196	21.2	108	11.7	83	9.0	82	8.9	64	6.9	さいたま市
779	21.8	654	18.3	489	13.7	399	11.1	572	16.0	296	8.3	千葉市
276	20.8	238	17.9	117	8.8	104	7.8	213	16.1	89	6.7	横浜市
164	...	87	...	126	...	83	...	55	...	52	...	川崎市
595	26.9	479	21.6	330	14.9	341	15.4	266	12.0	209	9.4	静岡市 ²⁾
348	23.6	308	20.9	252	17.1	242	16.4	153	10.4	192	13.0	名古屋市
759	28.9	694	26.4	344	13.1	487	18.5	556	21.2	338	12.9	京都市
449	29.4	355	23.3	251	16.5	259	17.0	217	14.2	167	10.9	大阪市
292	25.3	213	18.4	145	12.6	148	12.8	133	11.5	112	9.7	神戸市
364	36.6	241	24.3	131	13.2	187	18.8	152	15.3	118	11.9	広島市
342	24.4	321	22.9	81	5.8	160	11.4	115	8.2	118	8.4	北九州

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもの」であり、次の2つの種類がある。

A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その時点における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

どの年齢の女子の人数も同じとして算定される出生率なので、女子人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、それに相当するものとして一般に用いられているのはAの期間合計特殊出生率である。

これは、各年齢の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になるからである。

- 晩婚化・晩産化が進行している状況では、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なるため、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なる。

2. コーホート合計特殊出生率（ごく粗い計算）

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみてごく粗く計算した。

例えば1966～1970年生まれ（平成17年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.48であり、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、少なくともこの水準を上回ると見込まれる。

平成17年の期間合計特殊出生率は、現在、晩産化の進行中であり、出産を終えた世代の高年齢時における低い出生率と、晩婚化・晩産化により出産を先送りしている世代の若年齢時の低い出生率の合計であって、「実際に1人の女性が一生の間に生む子どもの数」より低く現れている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和50年 (1975)	55年 (1980)	60年 (1985)	平成2年 (1990)	7年 (1995)	12年 (2000)	平成17年 (2005)
母の年齢	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.25
15～19歳	0.0205	0.0189	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0254
20～24	0.5128	0.3855	0.3173	0.2357	0.2022	0.1965	0.1788
25～29	0.9331	0.9140	0.8897	0.7031	0.5880	0.4967	0.4182
30～34	0.3569	0.3529	0.4397	0.4663	0.4677	0.4620	0.4272
35～39	0.0751	0.0666	0.0846	0.1079	0.1311	0.1572	0.1754
40～44	0.0106	0.0083	0.0094	0.0113	0.0148	0.0194	0.0242
45～49	0.0004	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.0205	0.0189	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0254
20～24	0.3855	0.3173	0.2357	0.2022	0.1965	0.1788	
25～29	0.8897	0.7031	0.5880	0.4967	0.4182		
30～34	0.4663	0.4677	0.4620	0.4272			
35～39	0.1311	0.1572	0.1754				
40～44	0.0194	0.0242					
45～49	0.0008						
コホート 合計特殊出生率	1.91	1.69	1.48	1.14	0.63	0.21	0.03

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03
15～24	0.41	0.34	0.26	0.22	0.22	0.21	
15～29	1.30	1.04	0.85	0.72	0.63		
15～34	1.76	1.51	1.31	1.14			
15～39	1.89	1.66	1.48				
15～44	1.91	1.69					
15～49	1.91						

*「15～19歳の世代」は、昭和61～平成2年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和56～60年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和51～55年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和46～50年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和41～45年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和36～40年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和31～35年生まれ。

人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率
日本	'05) 8.4	'05) 8.6	'05) 2.8	'05) 5.7	'05) 2.08	'05) 1.25
韓国	'05) *9.0	'04) 5.1	'05) …	'05) 6.5	'05) 2.6	'05) *1.08
シンガポール	'04) 10.1	'04) 4.3	'04) 2.0	'03) 6.4	'03) 1.91	'04) 1.24
アメリカ	'03) 14.1	'03) 8.4	'03) 6.9	'03) *7.5	'02) 4.0	'03) 2.04
フランス	'03) 12.7	'03) 9.4	'03) 4.4	'03) *4.6	'03) 2.14	'03) 1.89
ドイツ	'03) 8.6	'03) 10.3	'03) 4.2	'03) 4.6	'03) 2.59	'03) 1.34
イタリア	'03) 9.4	'03) 10.2	'03) 4.6	'03) *4.5	'03) 0.73	'03) 1.30
スウェーデン	'03) 11.1	'03) 10.4	'03) 3.1	'03) 4.4	'03) 2.36	'02) 1.65
イギリス	'03) 11.7	'03) 10.3	'03) 5.3	'03) 5.1	'03) 2.80	'03) 1.71

注：*印は暫定値である。

資料：(1) 日本は、人口動態統計月報年計（概数）の概況

(2) 韓国は、韓国統計庁資料

(3) シンガポールは、シンガポール統計局資料

(4) アメリカは、NCHS, National Vital Statistics Reports

(5) ヨーロッパの各国は、UN, Demographic Yearbook 2003

分母に用いた人口

① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
総数	126 206 000	61 620 000	64 586 000
0～4歳	5 587 000	2 868 000	2 718 000
5～9	5 846 000	2 996 000	2 849 000
10～14	5 980 000	3 066 000	2 914 000
15～19	6 494 000	3 332 000	3 162 000
20～24	7 339 000	3 772 000	3 566 000
25～29	8 266 000	4 238 000	4 028 000
30～34	9 620 000	4 878 000	4 742 000
35～39	8 611 000	4 350 000	4 262 000
40～44	7 969 000	4 015 000	3 954 000
45～49	7 656 000	3 841 000	3 815 000
50～54	8 724 000	4 351 000	4 373 000
55～59	10 171 000	5 030 000	5 140 000
60～64	8 437 000	4 087 000	4 351 000
65～69	7 382 000	3 508 000	3 874 000
70～74	6 596 000	3 016 000	3 580 000
75～79	5 225 000	2 240 000	2 985 000
80～84	3 392 000	1 215 000	2 176 000
85～89	1 832 000	555 000	1 277 000
90～	1 082 000	261 000	821 000

資料：「平成17年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

ただし、「85～89」及び「90～」については、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健統計課で推計。

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総数	男	女
全 国	126 206 000	61 620 000	64 586 000
北海道	5 611 000	2 671 000	2 940 000
青森	1 436 000	679 000	757 000
岩手	1 381 000	662 000	719 000
宮城	2 355 000	1 148 000	1 207 000
秋田	1 144 000	541 000	604 000
山形	1 211 000	585 000	626 000
福島	2 087 000	1 017 000	1 070 000
茨城	2 946 000	1 467 000	1 479 000
栃木	1 988 000	988 000	999 000
群馬	1 996 000	984 000	1 012 000
埼玉	6 980 000	3 519 000	3 461 000
千葉	5 979 000	2 997 000	2 982 000
東京	12 208 000	6 072 000	6 136 000
神奈川	8 655 000	4 372 000	4 283 000
新潟	2 428 000	1 177 000	1 251 000
富山	1 105 000	533 000	572 000
石川	1 169 000	566 000	603 000
福井	812 000	395 000	418 000
山梨	870 000	427 000	443 000
長野	2 170 000	1 059 000	1 111 000
岐阜	2 071 000	1 005 000	1 066 000
静岡	3 727 000	1 837 000	1 889 000
愛知	7 096 000	3 556 000	3 541 000
三重	1 832 000	890 000	943 000
滋賀	1 356 000	669 000	687 000
京都	2 595 000	1 250 000	1 346 000
大阪	8 656 000	4 209 000	4 446 000
兵庫	5 513 000	2 644 000	2 869 000
奈良	1 418 000	676 000	741 000
和歌山	1 036 000	488 000	548 000
鳥取	603 000	289 000	314 000
島根	740 000	353 000	387 000
岡山	1 937 000	930 000	1 007 000
広島	2 852 000	1 379 000	1 473 000
山口	1 485 000	702 000	783 000
徳島	806 000	383 000	423 000
香川	1 010 000	485 000	524 000
愛媛	1 465 000	691 000	774 000
高知	795 000	374 000	421 000
福岡	5 031 000	2 389 000	2 643 000
佐賀	864 000	408 000	456 000
長崎	1 478 000	691 000	786 000
熊本	1 839 000	867 000	973 000
大分	1 205 000	568 000	636 000
宮崎	1 153 000	542 000	611 000
鹿児島	1 752 000	819 000	933 000
沖縄	1 361 000	668 000	693 000

資料：「平成17年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健統計課で推計。

15大都市・男女別人口（総人口）

15大都市 (再掲)	総数	男	女
東京都区部	8 483 050	4 206 810	4 276 240
札幌市	1 880 875	888 927	991 948
仙台市	1 024 947	500 478	524 469
さいたま市	1 176 269	590 901	585 368
千葉市	924 353	462 937	461 416
横浜市	3 579 133	1 803 349	1 775 784
川崎市	1 327 009	686 980	640 029
静岡市	700 879	340 970	359 909
名古屋市	2 215 031	1 099 388	1 115 643
京都市	1 474 764	703 134	771 630
大阪市	2 628 776	1 280 164	1 348 612
神戸市	1 525 389	724 359	801 030
広島市	1 154 595	559 380	595 215
北九州市	993 483	466 719	526 764
福岡市	1 400 621	675 895	724 726

資料：「平成17年10月1日現在国勢調査速報（要計表による人口）」（総務省統計局）

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成17年	平成16年	対前年増減
	人	人	人
総数	126 206 000	126 176 000	30 000
0～4歳	5 587 000	5 679 000	△ 92 000
5～9	5 846 000	5 889 000	△ 43 000
10～14	5 980 000	6 015 000	△ 35 000
15～19	6 494 000	6 686 000	△ 192 000
20～24	7 339 000	7 506 000	△ 167 000
25～29	8 266 000	8 547 000	△ 281 000
30～34	9 620 000	9 626 000	△ 6 000
35～39	8 611 000	8 493 000	118 000
40～44	7 969 000	7 775 000	194 000
45～49	7 656 000	7 758 000	△ 102 000
50～54	8 724 000	9 224 000	△ 500 000
55～59	10 171 000	9 582 000	589 000
60～64	8 437 000	8 609 000	△ 172 000
65～69	7 382 000	7 312 000	70 000
70～74	6 596 000	6 444 000	152 000
75～79	5 225 000	5 082 000	143 000
80～84	3 392 000	3 222 000	170 000
85～89	1 832 000	1 713 000	119 000
90～	1 082 000	1 013 000	69 000

資料：「平成17年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

ただし、「85～89」及び「90～」については、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健統計課で推計。

「平成16年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女子人口）の対前年比較

年齢階級	平成17年	平成16年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	3 162 000	3 256 000	△ 94 000
20～24	3 566 000	3 649 000	△ 83 000
25～29	4 028 000	4 181 000	△ 153 000
30～34	4 742 000	4 751 000	△ 9 000
35～39	4 262 000	4 208 000	54 000
40～44	3 954 000	3 861 000	93 000
45～49	3 815 000	3 867 000	△ 52 000
計	27 529 000	27 773 000	△ 244 000

資料：「平成17年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）